

スキャナー：適合宣言書.....	5
スキャナー：安全にお使いいただくために.....	6
スキャナーの本体について.....	7
スキャナーの接続／スキャナーを開く、閉じる.....	8
原稿をスキャナーにセットする.....	9
各機能の操作について.....	10
コントローラーの操作：ホーム画面1.....	11
コントローラー操作：ホーム画面2.....	12
コピー、スキャン、コピー&アーカイブ機能.....	13
プリセット：原稿の種類.....	15
コピー機能：操作例.....	16
コピー機能：プリセット設定項目.....	17
コピー、スキャン、コピー&アーカイブ機能：輪郭強調設定項目.....	18
スキャン機能：操作例（原稿セット、フォルダーリストの選択・編集）.....	19
スキャン機能：スキャン to Eメールの操作例.....	21
スキャン機能：スキャン to クラウドの操作例.....	22
スキャン機能：プリセット設定項目.....	23
コピー&アーカイブ機能：操作例.....	24
コピー&アーカイブ機能：プリセット設定項目.....	25
編集機能：操作例.....	26
プリント機能：操作例.....	27

クラウドからのプリント：操作例	28
プリント機能：プリント設定項目	29
プレビュー	30
プレビュー：設定	31
プレビュー：レイアウト   傾き補正/回転	32
プレビュー：レイアウト   切抜き/ミラー	33
プレビュー：調整   色の変更/明るさとコントラスト	34
プレビュー：調整   シャープネス	35
プレビュー：調整   白黒ポイント (カラー/グレー プリセット時)	36
プレビュー：調整   白黒ポイント種類の解説	37
プレビュー：調整   白黒ポイント種類 (白黒/青焼きプリセット時)	38
プレビュー：調整   レンダリングインテント (カラープリセットのみ)	39
プレビュー：調整   反転	40
プレビュー：調整   ブループリント 3	41
新しいプリセットの作成方法	42
スキャン to USB メモリー	43
ロングスキャンモード	44
連続モードとマルチスキャン	45
コピー：ソート	46
設定	47
設定：プログラム環境設定	48
設定：プリンターの設定	49

設定：プリンターの設定	50
設定：新しいプリンターをインストールする	51
設定：スキャナーの設定とメンテナンス	52
スキャナーメンテナンス：クリーニング	54
スキャナーメンテナンス：スキャンガラスの交換（サービスマン実施）	55
スキャナーメンテナンス：ホールドアッププレートの交換（サービスマン実施）	56
設定：ファイル設定	57
設定：プリセット	58
設定：システム管理（管理者専用）	59
設定：システム管理（管理者専用、ユーザーアカウント有効時）	60
設定：ユーザーアカウント（管理者専用）	61
設定：ユーザーアカウント：ローカルユーザーの編集（管理者専用）	63
スキャンフォルダー：スキャン to ネットワークフォルダー	65
スキャンフォルダー：スキャン to ネットワーク FTP サーバー	66
スキャンフォルダー：スキャン to ローカルフォルダーと HTTP 経由のアクセス	67
設定：ユーザーアカウント：アクティブディレクトリユーザーの編集（管理者専用）	68
設定：ユーザーアカウント権限（管理者専用）	69
設定：ユーザーアカウント操作ログ（管理者専用）	70
設定：操作ログファイル（管理者専用）	71
設定：ファイル管理（管理者専用）	72
設定 - システム管理者 - 共有フォルダー（管理者専用）	73
設定：Eメール設定（管理者専用）	75

設定：Eメール設定（ユーザーアカウント=オフ）（管理者専用）	76
設定：Eメール設定（ユーザーアカウント=オン）（管理者専用）	77
設定：アカウント処理（管理者専用）	78
設定 - システム管理 - システム設定（管理者専用）	79
設定 - システム管理 - システム設定 - オプション機能（管理者専用）	81
設定 - システム管理 - システム設定 - システムの更新と修復（管理者専用）	82
設定 - システム管理 - システムの更新と修復（手動）	83
設定：Windows Defender の更新（管理者専用）	85
設定：ネットワーク設定（管理者専用）	86
設定：リモート管理（管理者専用）	87
初回設定	88
アプリケーションノート：枠のトリミング（コピー）	89
アプリケーションノート：原稿サイズと原稿の向きオプション	90
アプリケーションノート：巻き癖がきつい、デリケートな原稿のスキャン	91
トラブルシューティング	92
トラブルシューティング：画質	94
仕様（仕様は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。）	96

## スキャナー：適合宣言書

製造元：	Global Scanning A/S UNIT 5 BRUNEL COURT, BURREL ROAD, ST IVES, HUNTINGDON PE27 3LW, UNITED KINGDOM
モデル： 製品名： 機能： 定格電源： 定格電流： 電源：	UH56T, UG56T Z24, Z36 大判スキャナー 19Vdc 4.74A MW GST90A
適合：	国際エネルギースタープログラム、CB(62368-1)、CE、FCC(EMC)、CuI/UL、CCC、NOM-019、EAC、C-TICK、VCCI、BIS、EMC +LOA、UL AR
注意：	1) この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A 2) インターネット等の専用回線設備への接続の際には、必ず電気通信事業法の認定品（ルータ・モデム等）に接続してご利用ください。



## スキャナー：安全にお使いいただくために



スキャナーを落とさないでください。本機には振動や衝撃で破損する恐れのある部品が含まれています。



スキャナーまたは電源アダプターに直射日光が当たらないように注意してください。



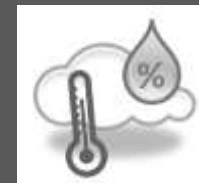
コントローラーの電源は、完全にシャットダウンしてから抜いてください。次回起動時に正常起動ができなくなる恐れがあります。



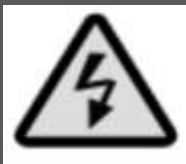
スキャナーの開閉時に指を挟まないように注意してください。



付属の電源コード以外は使用しないでください。  
付属の電源コードは他の機器で使用できません。  
製品を使用するにあたり、アースを取り付けてください。



操作環境：  
相対湿度 10%~90%  
温度条件 10°C~35°C  
(ただし結露無きこと)  
湿度による損傷を受けないように、周辺の室温にスキャナーが馴染んでから開梱し、電源を入れてください。



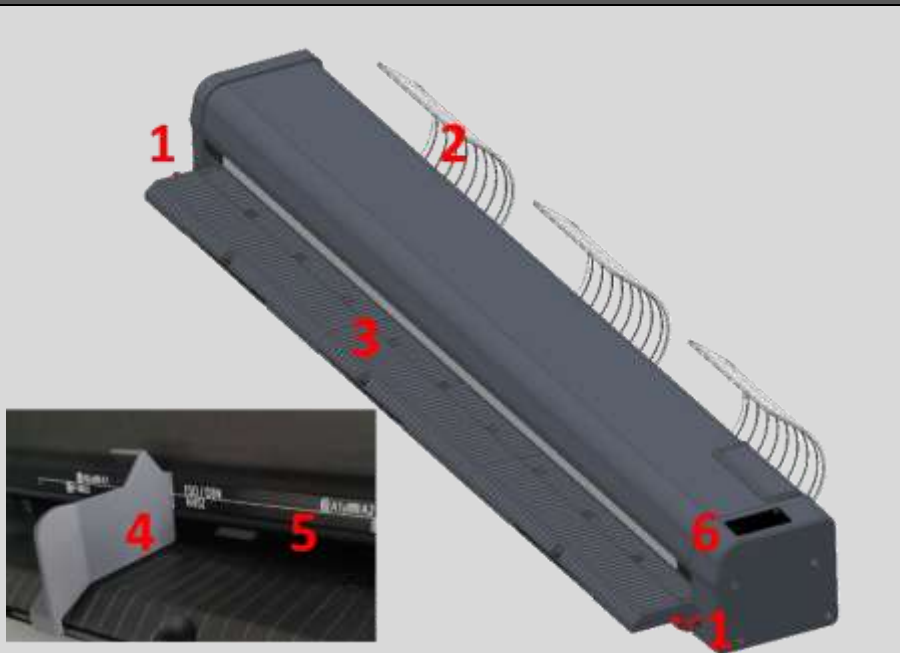
露出した電気部品に触ると感電する恐れがあります。



スキャナーに水がかかったりする場所、または湿気の多い場所で使用しないで下さい。

## スキャナーの本体について

1. ペーパートレイラッチ (両側にあります)
2. ペーパーリターン ガイド
3. ペーパートレイ
4. 原稿ガイド (右と左)
5. 原稿サイズガイド
6. 操作ボタン



**スキャナー操作ボタン**

LED :

紫色 - 準備中  
青色 - 使用可

- 青色の光が 15 秒間隔で点滅する : スリープモード
- オレンジ色の光が一秒間隔で点滅する : スキャナーのカバーが開いている
- 紫色の光が一秒間隔で点滅する : 原稿を搬送中

**操作ボタン :**

- 原稿を送る
- 原稿を巻き戻す

停止 / スリープモードの解除



**スキャナースリープモード**

節電のためスキャナーは 15 分でスリープモードに移行します。(Energy Star の最大時間は 15 分です) この設定はソフトウェアで変更することができます。赤の「停止ボタン」を押すとスリープモードを解除できます。

## スキャナーの接続／スキャナーを開く、閉じる

1. ケーブルクランプ

2. 電源スイッチ

3. 電源コネクター

USB3 コネクター

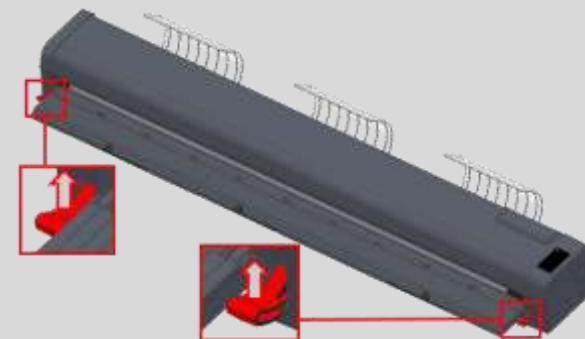


### スキャナーのカバーを開く、閉じる

スキャナーのカバーを長い間開いたままにしないでください。

スキャナーの両端にあるレバーを同時に上に持ち上げるとスキャナーのカバーが開きます。

カバーを閉じるときは両端のラッチがカチッとロックするまでカバーを上から押します。



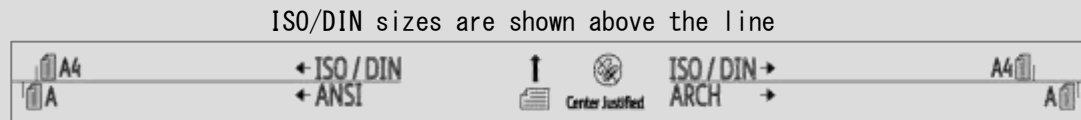
### 電源アダプター

付属の電源アダプター以外は使用しないでください。



## 原稿をスキャナーにセットする

- 注意： ホッチキスの針やクリップのような物が付いた原稿をスキャンするとガラスに傷がつき、正しい画像データを取り込むことができなくなります。また粘着テープやポストイットなどが付いた原稿をスキャンするとガラスに粘着剤が付き、画像の品質が悪くなる恐れがあります。
- キャリブレーションシートなど厚手の原稿をスキャンするときはペーパーリターンガイドを取り外し、後方にまっすぐに排紙されるようにしてください。
- 原稿を上向きにして原稿の中央がスキャナーの中央に合うようにセットします。自動サイズでスキャンする場合、おおよそ中心に合わせることで正しくスキャンできます。定型サイズを使用する場合、スキャナーのカバーに表示されている原稿サイズに原稿を合わせてセットします。



ANSI サイズは線の左下に、ARCH サイズは線の右下に表示されています。

- 原稿ガイドをご利用いただくことで原稿をより正しくスキャナーにセットすることができます。
- 両手で原稿先端近くの両端を持ち、たるまないように少し原稿を引っ張り、真直ぐにしてスキャナーの開口口に平行になるようにセットします。原稿を検知するとスキャナーの中のローラーが自動的に駆動し、原稿をスキャナーに取り込み、スキャンやコピーを開始できるように正しい場所に原稿をセットします。
- 排紙された原稿が回り込んで再度スキャナーに入ることがないように、原稿を支えながらスキャンします。
- 矢印の排紙ボタン（前方／後方）を押し続けると原稿はスキャナーの前方、または後方に排紙されます。
- 紙詰まりを起こした場合、スキャナーのカバーを開き、手で原稿を取り除いてください。原稿はスキャナーの前方、または後方から取り出せます。
- スキャナーのカバーを開けずに原稿を引き出すとスキャナーが破損する可能性があります。



## 各機能の操作について

SmartWorks MFP を使用してコピー、スキャン、プリント、編集、コピー&アーカイブ の機能を使用できます。

画像のプレビューや編集などの一連の作業をスムーズに行える「スキャンワンス機能」を採用しています。「スキャンワンス機能」は、一度スキャンした後、プレビュー画面でスキャン画像に様々な編集をリアルタイムに行うことができ、編集した画像を即プリント出力、またはファイル保存することができます。設定を変更して何度もスキャンし直す必要がない為、搬送によって傷つきやすいデリケートな原稿のスキャンにも適しています。また作業時間の削減、紙やインクの無駄を省きます。



ユーザーアカウント認証による使用機能の制限：

ユーザーアカウントでログオンした場合、ユーザーのレベルによって使用できる機能が異なります。SmartWorks MFP の管理者にご確認ください。

標準機能：

- Zシリーズスキャナーのみ対応します。
- プリンターに接続されていて、電源が入っていることを確認して下さい。

## コントローラーの操作：ホーム画面 1

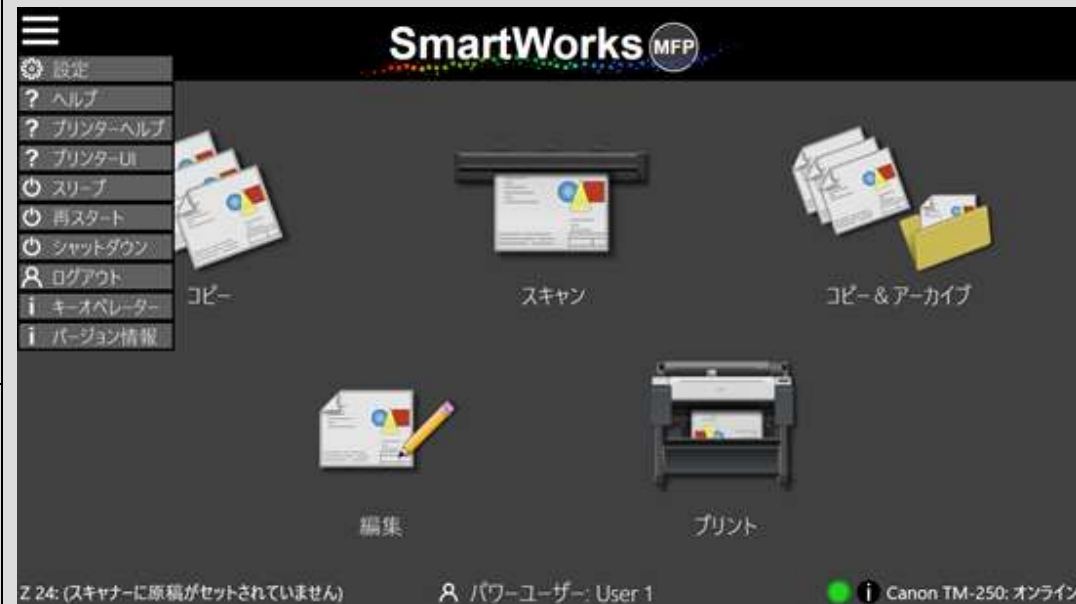
メニュー：

- **設定**：ソフトウェアの各種設定ができます。
- **ヘルプ**：このヘルプファイルのことです。
- **プリンターヘルプ**：プリンターのウェブヘルプにリンクします。  
(システム管理者が有効にした場合)
- **プリンターUI**：プリンターリモート UI へのリンク  
(システム管理者が有効にした場合)
- **スリープモード**：スリープモードにします。画面または電源ボタンを1回タッチでスリープモードが解除されます。
- **再起スタート**：システムを再起スタートします。
- **シャットダウン**：システムをシャットダウンします。
- **ログアウト**：ログアウトしてソフトをリセットします。  
(ユーザーアカウントが有効な場合)
- **キーオペレーター**：一般ユーザー向けに管理者に関する連絡先等の情報を表示します。
- **ソフトウェアについて**：ソフトウェアのバージョンを表示します。

機能アイコン  
(ホーム画面に表示するアイコンを減らすことができます)

- 機能のアイコンをクリックし、各機能の操作画面に移動します。
- **コピー** (スキャンモードに応じた品質で接続プリンターで印刷を実行)
  - **スキャン** (スキャンデータを指定フォルダーに保存)
  - **コピー & アーカイブ** (コピーとスキャン機能のコンビネーション)
- 下記の機能を選択した場合はファイルを選択してください。
- **編集** (単一ページのみ、過去にスキャンしたファイルを編集し保存)
  - **プリント** (PDF、M-PDF、JPG、Tiff のスキャンファイルをプリント)

タイムアウトのリセット：2分間ソフトウェアが使用されない場合、システムコントローラーは現在のユーザーをログアウトし、スリープ状態になります。タイムアウトの時間は「システム環境設定」で設定することができます。



## コントローラー操作：ホーム画面 2

スキャナステータス	オンライン、オフラインステータス 原稿がセットされている場合、スキャナーで検知した原稿幅が表示されます。
ログインしたユーザー情報 (ユーザーアカウントでログオンした場合)	ユーザーのレベル (アドミニストレーター、パワーユーザー、ユーザー) とユーザー名
プリンタステータス	<p>オンライン、オフラインステータス、警告やエラーメッセージの表示 プリンター名をクリックすると現在のメディアやインクステータス、通信ポートを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: green;">●</span> アイドル (通常状態)</li> <li><span style="color: yellow;">!</span> 警告</li> <li><span style="color: red;">✕</span> エラー</li> <li><span style="color: gray;">●</span> 接続できません</li> </ul>
スキャナステータス	オンライン、オフラインステータス 原稿が搭載されている場合、スキャナーで検知した原稿幅が表示されます。





## コピー、スキャン、コピー&アーカイブ機能

メディア (コピー、 コピー&ア ーカイブの み)	メディア	プリンターにセットされた用紙の種類やロール紙幅が表示されます。2段ロール給紙に対応したプリンターの場合、コピーやプリントに使用する用紙種類を選択します。
	ロール紙自動選択	2本のロールユニットに同じ種類のメディアをセットしている場合、「ロール紙自動選択」を有効にすると画像の幅に合わせたロール紙を選択します。
	メディア情報	現在のメディアの種類やサイズの情報プリンターから取得します。
	出力トレイ	プリンターの出力トレイが複数ある場合、プリンターのどのトレイにプリント画像を出力するかを設定します。(注: 対応メディアに制限があります。プリンターマニュアルを確認ください。)
環境設定	プレビュー	ファイルを保存、またはプリントする前に、画像をスクリーンに表示し、調整や編集を行えます。「プレビュー」がオフの場合、画像ファイルをスクリーンに表示せずに保存、またはコピーします。
	連続モード	原稿が搭載されると自動でスキャンを開始します。
	ソート (セット)	複数原稿の部数指定コピーを行う際に、出力の順序を設定します。自動的に連続モードになります。(コピーのみ)
	ロングスキャンモード	200/300dpiのPDFで最大50m長(1968.5インチ)までの原稿スキャンを可能にします。プレビューモードとバッチモードが自動的に無効になります。(スキャンのみ)



## コピー、スキャン、コピー&アーカイブ機能

フォルダー（スキャン、コピー&アーカイブのみ）	スキャンファイルを保存するフォルダーを選択します。 ユーザーアカウント設定がオンの場合、ユーザーごとに設定されたデフォルトスキャンフォルダーに設定されることがあります。
プリセットを選択、または編集する	スキャンする原稿に合わせたプリセットを選択します。 「プリセット設定」を編集します。設定が変更されるとプリセット名が「カスタム」に変更されます。この画面を閉じる前に、編集したプリセットを新しいプリセットとして保存するかを問われます。
	<p><b>グレーのアイコン</b>：システムの準備ができていません。スキャナーに原稿が搭載されていないか、またはプリンターの準備ができていません。</p> <p><b>緑のアイコン</b>：スキャン、またはコピーができます。 (ユーザーアカウント設定がオンの場合、各属性項目に必要情報を入力し、OK をタップしてください。)</p> <p><b>赤のアイコン</b>：現在の機能をキャンセルします。</p> <p><b>青のアイコン</b>：連続モード、マルチページモード、ソートモードを一時停止します。</p>
	ホーム画面に戻ります。



## プリセット : 原稿の種類

カラー写真



カラー (CAD)



カラー (地図)



カラー (図面)



白黒図面 (きれい)



白黒反転 (青写真)



グレー写真



グレー地図



グレー図面



白黒図面 (汚れ)



白黒図面 (汚れ多い)



ブループリント 2、3

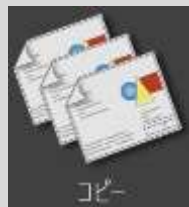


注記: 設定の中のプリセットの編集で表示をオンに設定しないと表示されないプリセットがあります。

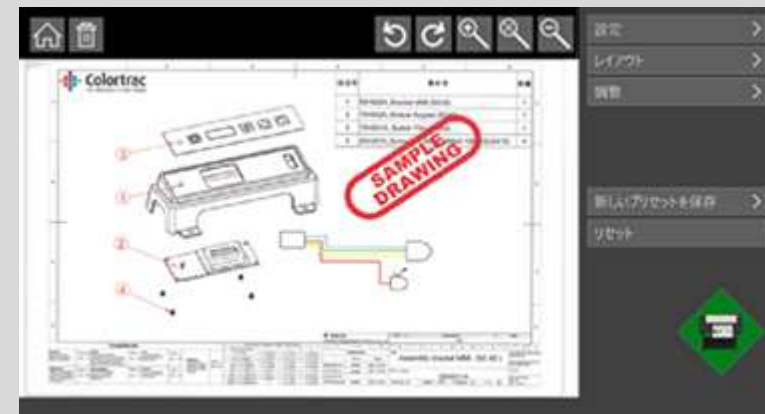
- スキャンプリセットのRAW TIFF は、特殊用途向けにカラーマネージメント無しのTIFF形式でファイルを保存します。
- ロングスキャンプリセット=ファイルタイプをPDFに設定し、品質を200/300dpiに設定します。最大スキャン長は50m (1968.5インチ)です。
- スキャン/コピー プリセットの“フィルター無し”は、カラーマネージメント機能がありますが、画像フィルターは適用されていません。

## コピー機能：操作例

1. 原稿をスキャナーの中央に上向きにセットします。
2. コピー機能を選択します。
3. メディア：プリンターにセットされている用紙情報から印刷したい用紙を選択します。
4. プログラム環境設定：プレビューや連続コピー等の設定を変更します。
5. 使用するプリセットを選択します。これにより、カラーモードなど必要な設定が定義されます。
6. 必要に応じてプリセット以下のメニューの設定を変更します。例えば、部数や品質モードを変更してください。
7. 緑のスタートボタンをタップします。  
(ユーザーアカウント設定がオンの場合、各属性項目に必要な情報を入力し、OK をタップします。)



8. プレビューが有効になっている場合、スキャンした画像が表示されます。
9. 必要に応じて画像に変更を加えます。
  - 設定：出力用紙の変更など
  - レイアウト：回転やトリミングなど
  - 調整：色や階調、白黒ポイントなど画質調整
10. 緑のスタートボタンを押して画像を印刷するか、ホームボタンをタップしてキャンセルします。



## コピー機能：プリセット設定項目

原稿サイズ	オリジナルの原稿サイズ	品質	ドラフト／ <u>標準</u> ／高品質	
自動	スキャナーが原稿の幅と長さを検知します。	倍率	拡大、縮小、ロール紙幅に合わせる	
一番近い定型サイズ	スキャナーが原稿の幅を検知し、一番サイズが近い定型サイズ幅へ自動で変更します。		ロールサイズに合わせて印刷	プリンターにセットしたロール紙の最大幅に合わせて画像サイズを自動で調整します。
			%	<b>100%</b>
全幅	原稿幅は Z24 スキャナーでは 24 インチ、Z36 スキャナーでは 36 インチに設定されています。原稿長さはスキャナーが検知します。		ISO	入力： A4/A3/A2/A1/A0      出力： A4/A3/A2/A1/A0
			ANSI	入力： A/B/C/D/E/E+      出力： A/B/C/D/E/E+
定型サイズ	スキャナーに表示される定型サイズに合わせて原稿をセットします。		ARCH	入力： A/B/C/D/E/E1      出力： A/B/C/D/E/E1
縦置き／横置き	原稿の向き		JIS	入力： B4/B3/B2/B1/B0      出力： B4/B3/B2/B1/B0
	ISO		入力： A4/A3/A2/A1/A0	出力： A4/A3/A2/A1/A0
	ANSI		入力： A/B/C/D/E/E+	出力： A/B/C/D/E/E+
	ARCH		入力： A/B/C/D/E/E1	出力： A/B/C/D/E/E1
	JIS		入力： B4/B3/B2/B1/B0	出力： B4/B3/B2/B1/B0
ユーザー定義	1 から最大 6 サイズ（「設定」-「プログラム環境設定」-「表示される原稿サイズ」-で設定します） ユーザーによって設定された用紙サイズを選択できます。	印刷自動回転	オン／ <u>オフ</u> プリンターにセットしているロール紙の印字可能幅より画像の長辺側が短い場合に、自動で画像を回転します。倍率を“ロールサイズに合わせて印刷”に設定すると、印刷自動回転は適用されません。	
コピー部数	1 部から最大 99 部	輪郭強調	オン／ <u>オフ</u> 細線やテキストの輪郭を検出し、画像をシャープにします。	
		プリセットの情報	現在のプリセットの設定を表示します。	
印刷位置	<u>左</u> /中央/ 右			

## コピー、スキャン、コピー&アーカイブ機能：輪郭強調設定項目

細線やテキスト部分の輪郭を検出し、画像をシャープにします。



オン

オフ

輪郭強調

## スキャン機能：操作例（原稿セット、フォルダーリストの選択・編集）

1. 原稿をスキャナーの中央に上向きにセットします。
2. スキャン機能を選択します。
3. 「プログラム環境設定」でレビュー等の設定を変更します。
4. 「フォルダー」の「フォルダーリスト」で保存先のフォルダーを選択できます。「複数フォルダーの設定場所」をオンにする  
と複数リストを選択できます。

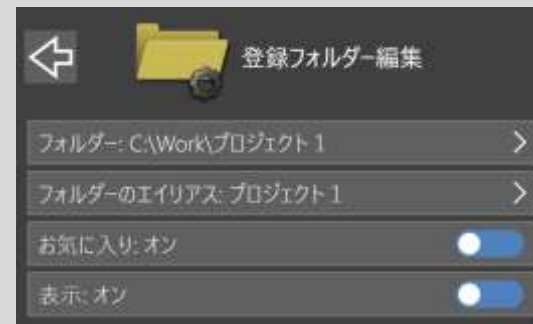
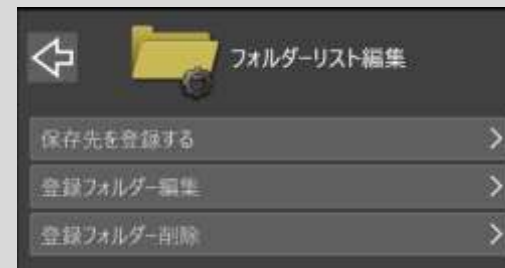
フォルダー参照：任意のフォルダーを都度参照してファイル保存先に指定できます。

フォルダーリスト編集：

- 保存先を登録する：ファイル保存先のフォルダーをリストに登録します。システムコントローラーのローカルフォルダーまたはネットワーク共有フォルダーを設定する事が出来ます。  
(SMB/FTP/FTP (SSL))



- 登録フォルダー編集：編集するフォルダーリストを選択します。
  - フォルダー：保存先のパスや認証情報を編集します。
  - フォルダーのエイリアス：完全なフォルダーパスの代わりに、ユニーク名を登録してフォルダーリストに表示します。
  - お気に入り：オン = フォルダーリスト上位に優先表示します。
  - 表示：オフ = リストから非表示にします。
- 登録フォルダー削除：フォルダーリストの登録情報を削除します。（フォルダーそのものを削除するわけではありません）



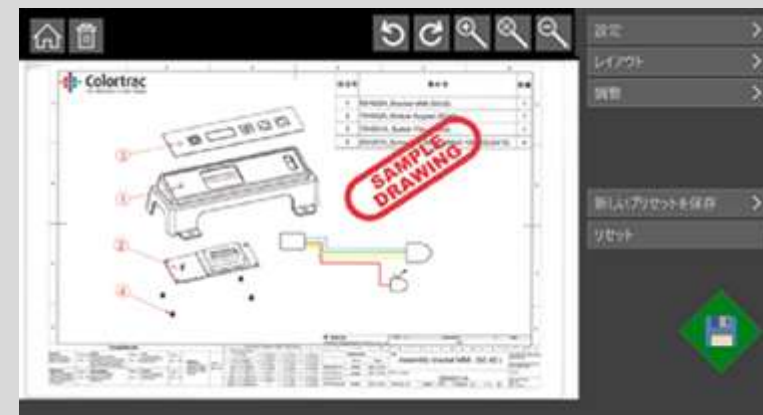
ネットワークフォルダーの登録項目については「スキャンフォルダー：スキャン to ネットワークフォルダー」を参照

## スキャン機能：操作例（プリセットの選択、プレビュー）

- 使用するプリセットを選択します。これにより、カラーモードなど必要な設定が定義されます。
- 必要に応じてプリセット設定を調整します。例えば、ファイルの種類または品質モードなどを変更してください。
- 緑のスタートボタンをタップします。  
(ユーザーアカウント設定がオンの場合、各属性項目に必要な情報を入力し、OK をタップします。)



- プレビューが有効になっている場合、スキャンした画像が表示されます。
- 必要に応じて画像に変更を加えます：設定、レイアウト、調整
- 必要に応じてファイル名を変更してください。
- 必要に応じて、ファイル名を変更します（設定-ファイル名の変更）
- 緑のスタートボタンをタップして変更した画像を保存します。ホームボタンをタップすると変更せずに保存するかゴミ箱ボタンで削除します。
- デフォルトのスキャンフォルダーからスキャンファイルを取得するには、「スキャンフォルダー：スキャン to ローカルフォルダーと HTTP 経由のアクセス」を参照してください。

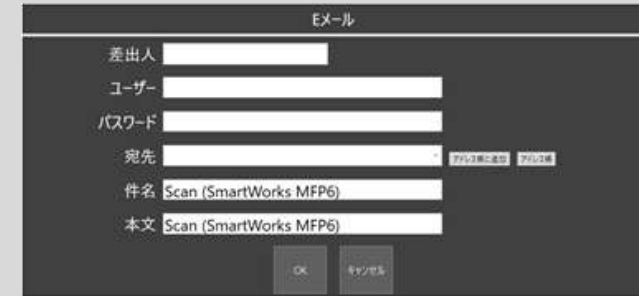


## スキャン機能：スキャン to Eメールの操作例

1. 原稿をスキャナーの中央に上向きにセットします。
2. スキャン機能を選択します。
3. 必要に応じて設定を変更します。
4. 必要に応じてスキャンフォルダーを変更します。
5. 使用するプリセットを選択します。これにより、カラーモードなど必要な設定が定義されます。
6. Eメールを有効にします（管理者がこの機能を有効にする必要があります）
7. 必要に応じて、プリセット設定を調整します。例えば、ファイルの種類または品質モードなどを変更してください。
8. 緑のスタートボタンをタップします。  
(ユーザーアカウント設定がオンの場合、各属性項目に必要な情報を入力し、OKをタップします)。



9. プレビューが有効になっている場合、スキャンした画像が表示されます。
10. 緑のスタートボタンをタップして画像を保存します。
11. Eメールウィンドウで、必要に応じて「送信元」Eメールとパスワード、「宛先」Eメールアドレスを入力します。  
アドレス帳のボタンを使って、「宛先」メールのドロップダウンリストを管理します。（このリストは各ユーザーに固有のもので、アクティブディレクトリユーザーの場合は、「更新」ボタンが利用できます）。
12. 必要に応じて、Eメールの件名とメッセージ本文のテキストを編集し、[OK]をタップします。



## スキャン機能：スキャン to クラウドの操作例

1. 原稿をスキャナーの中央に上向きにセットします。
2. スキャン機能を選択します。
3. 必要に応じて設定を変更します。
4. 必要に応じてスキャンフォルダーを変更します。
5. 使用するプリセットを選択します。これにより、カラーモードなど必要な設定が定義されます。
6. クラウドを有効にします。（管理者が有効にする必要があります）
7. クラウドサービスを選択します。
8. 必要に応じて、プリセット設定を調整します。例えば、ファイルの種類または品質モードなどを変更してください。
9. 緑のスタートボタンをタップします。  
(ユーザーアカウント設定がオンの場合、各属性項目に必要な情報を入力し、OK をタップします)。



10. プレビューが有効になっている場合、スキャンした画像が表示されます。
11. 緑のボタンをタップすると画像が保存され、クラウドのUI が起動します。
12. クラウドアカウントに接続し、フォルダーの選択或いは、新しいフォルダーを作成し、スキャンファイルをアップロードします。

注：ユーザーアカウントがオンになっている場合、クラウドログオン設定は、次のジョブのために保存されます。ユーザーアカウントがオフの場合は、毎回ログオンする必要があります。クラウドサービスはユーザーごとに保存されます。



## スキャン機能：プリセット設定項目

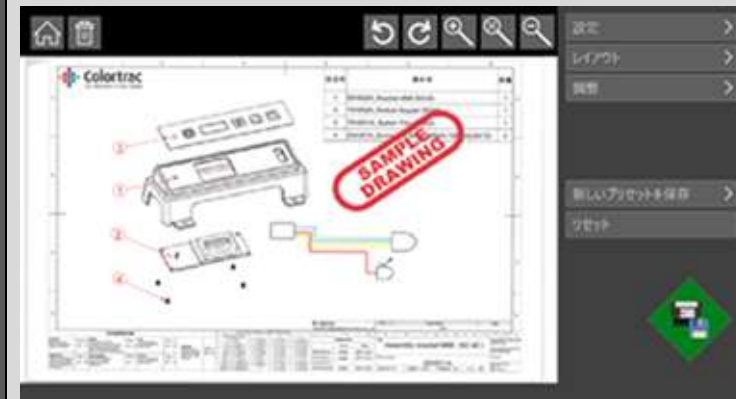
原稿サイズ	オリジナルの原稿サイズ	ファイル形式	PDF／マルチ PDF／マルチページ TIFF／JPEG／TIFF／DWF
自動	スキャナーが原稿の幅と長さを検知します。	品質	ドラフト／標準／高品質
一番近い定型サイズ	スキャナーが原稿の幅を検知し、一番サイズに近い定型サイズ幅へ自動で変更します。	ファイル名先頭の文字	ここに設定された文字がスキャンファイル名の先頭の文字になります。
全幅	原稿幅は Z24 スキャナーでは 24 インチ、Z36 スキャナーでは 36 インチに設定されています。原稿長さはスキャナーが検知します。	ファイル名に日付を入れる	<b>オン</b> ／オフ スキャンファイル名に時間と日付を入れます。
定型サイズ	スキャナーに表示される定型サイズに合わせて原稿をセットします。	スキャン to Email	<b>オン</b> ／ <b>オフ</b> Eメールにスキャンファイルが添付されます。受信者のメールアドレスを入力します。このアドレスは現在ログインしているユーザー用のみに保存できます。
縦置き／横置き	原稿の向き	スキャン to クラウド	<b>オン</b> ／ <b>オフ</b> スキャンファイルはクラウド用ソフトウェアに送信され、その後、選択したクラウドにアップロードします。
ISO	A4/A3/A2/A1/A0	クラウドサービス	<b>Dropbox</b> /Box
ANSI	A/B/C/D/E/E+	輪郭強調	<b>オン</b> ／ <b>オフ</b> 細線やテキスト部分の輪郭を検出し、画像をシャープにします。
ARCH	A/B/C/D/E/E1		
JIS	B4/B3/B2/B1/B0	プリセットの情報	現在のプリセットの設定を表示します。
注記：	ユーザーアカウントでログインした場合、ユーザーのレベルによって使用できる機能が異なります。SmartWorks MFP の管理者にご確認ください。 ロングスキャンモードが有効になっている場合、一部の機能は使用できません。		

## コピー&アーカイブ機能：操作例

1. 原稿をスキャナーの中央に上向きにセットします。
2. [コピーとアーカイブ機能]を選択します。
3. プリンターに使用するプリンターメディアまたは、出力ロール(複数ロールプリンタの場合)を選択します。
4. 必要に応じて「プログラム環境設定」でプレビューや連続コピー等の設定を変更します。
5. 必要に応じてスキャンフォルダーを変更します。
6. 使用するプリセットを選択します。これにより、カラーモードなど必要な設定が定義されます。
7. 必要に応じて、プリセット設定を変更します。例えば、コピー枚数、ファイルの種類などを変更してください。  
必要に応じて、プリセット設定を変更します。例えば、コピー枚数、ファイルの種類などを変更してください。



8. 緑のスタートボタンをタップします。(ユーザーアカウント設定がオンの場合、各属性項目に必要な情報を入力し、OK をタップします)。
9. レビューが有効になっている場合、スキャンした画像が表示されます。
10. 必要に応じて画像に変更を加えます：設定、レイアウト、調整
11. 必要に応じて、ファイル名を変更し、設定-ファイル名の変更
12. 緑のスタートボタンをタップして変更した画像を保存して印刷します。ホームボタンをタップすると変更と印刷せずに保存するかゴミ箱ボタンで削除します。



## コピー&アーカイブ機能：プリセット設定項目

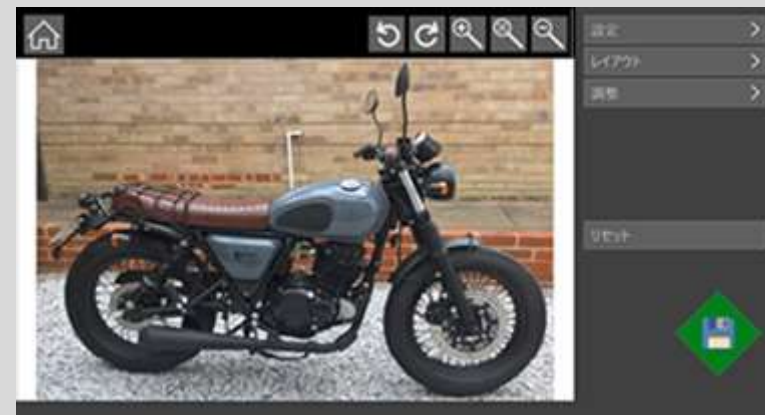
原稿サイズ	オリジナルの原稿サイズ	ファイル名先頭の文字	ここに設定された文字がスキャンファイル名の先頭の文字になります。	
自動	スキャナーが原稿の幅と長さを検知します。	ファイル名に日付を入れる	<u>オン</u> ／オフ スキャンファイル名に時間と日付を入れます。	
一番近い定型サイズ	スキャナーが原稿の幅を検知し、一番サイズが近い定型サイズ幅へ自動で変更します。	倍率	拡大、縮小	
全幅	原稿幅は Z24 スキャナーでは 24 インチ、Z36 スキャナーでは 36 インチに設定されています。原稿長さはスキャナーが検知します。	ロールサイズに合わせて印刷	プリンターにセットしたロール紙の最大幅に合わせて画像サイズを自動で調整します。	
		%	<b>100%</b>	
定型サイズ	スキャナーに表示される定型サイズに合わせて原稿をセットします。	ISO	入力：A4/A3/A2/A1/A0	出力：A4/A3/A2/A1/A0
縦置き／横置き	原稿の向き。	ANSI	入力：A/B/C/D/E/E+	出力：A/B/C/D/E/E+
	ISO	ARCH	入力：A/B/C/D/E/E1	出力：A/B/C/D/E/E1
	ANSI	JIS	入力：B4/B3/B2/B1/B0	出力：B4/B3/B2/B1/B0
	ARCH	用紙サイズ	入力：定型サイズ	出力：定型サイズ
	JIS	印刷位置	左/中央/ 右	
ユーザー定義	1 ユーザーから最大 6 ユーザー（設定で定義できます）	枠のトリミング	<u>オン</u> ／オフ スキャン画像から印字余白を自動で切り取ります。	
コピー部数	1 部から最大 99 部	ファイル形式	<u>PDF</u> ／マルチ PDF／JPEG／TIFF／DWF	
品質	ドラフト／ <u>標準</u> ／高品質	印刷自動回転	<u>オン</u> ／ <u>オフ</u> プリンターにセットしているロール紙の印字可能幅より画像の長辺側が短い場合に、自動で画像を回転します。倍率を“ロールサイズに合わせて印刷”に設定すると、印刷自動回転は適用されません。	
輪郭強調	<u>オン</u> ／ <u>オフ</u> 細線やテキスト部分の輪郭を検出し、画像をシャープにします。			
注記：	ユーザーアカウントでログインした場合、ユーザーレベルによって使用できる機能が異なります。SmartWorks MFP の管理者にご確認ください。			

## 編集機能：操作例

1. 編集を選択します。
2. ダイアログが表示されたら、編集するファイルを選択します。（単一ページファイルのPDF、JPG、TIFFのみ）



3. プレビュー画面に画像が表示されます。
4. 必要に応じて、画像に変更を加えます：設定、レイアウト、調整など
5. 緑色のスタートボタンをタップして変更を加えた画像を保存します。ホームボタンをタップしてキャンセルする事も出来ます。

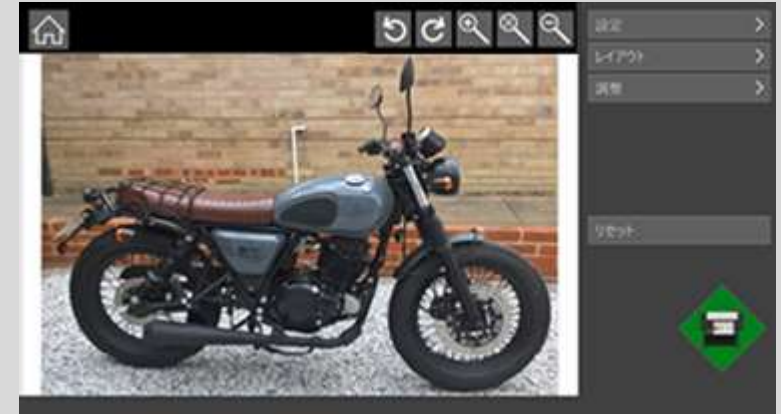


## プリント機能：操作例

1. プリントを選択します。
2. ダイアログが表示されたら、印刷するファイルを選択します。  
(PDF、M-PDF、JPG、TIFFのみ)
3. ここでは、複数ロールプリンターで使用するプリンターメディアを選択します。
4. 必要に応じて、プリセット設定を調整します。例えば、印刷部数または品質モードなどを変更してください。
5. マルチ PDF の場合は、印刷するページを選択します。
6. 緑色のスタートボタンをタップします。  
(ユーザーアカウント設定がオンの場合、各属性項目に必要な情報を入力し、OK をタップします)。



7. 画像がプレビュー画面に表示されます。(プレビュー無しで印刷されるマルチ PDF の場合を除く)
8. 必要に応じて画像に変更を加えます：設定、レイアウト、調整など
9. 緑色のスタートボタンをタップして印刷します。ホームボタンをタップしてキャンセルする事も出来ます。



## クラウドからのプリント：操作例

1. プリントを選択します。
2. ”クラウドからファイルをダウンロードする”にチェックを入れ、クラウドサービスを選択し、OK をタップします。
3. クラウドUI が起動します。
4. クラウドアカウントに接続し、ファイルを選択し、ダウンロードします。

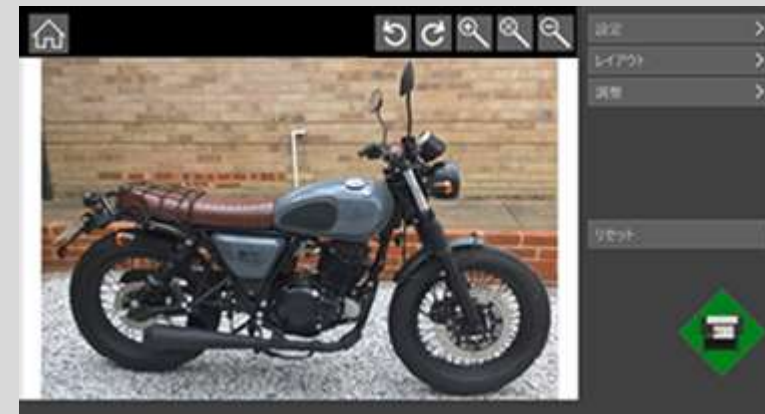


注：ユーザーアカウントがオンになっている場合、クラウドログオン設定は、次のジョブ用に保存されます。ユーザーアカウントがオフの場合は、毎回ログオンする必要があります。

5. ここでは、複数ロールプリンターで使用するプリンターメディアを選択します。
6. 必要に応じて、プリセット設定を調整します。例えば、印刷部数または品質モードなどを変更してください。








7. マルチ PDF の場合は、印刷するページを選択します。
8. 緑色のスタートボタンをタップします。  
(ユーザーアカウント設定がオンの場合、各属性項目に必要情報を入力し、OK をタップします)。
9. 画像がプレビュー画面に表示されます。(プレビュー無しで印刷されるマルチ PDF の場合を除く)
10. 必要に応じて画像に変更を加えます：設定、レイアウト、調整など
11. 緑色のスタートボタンをタップして印刷します。ホームボタンをタップしてキャンセルする事も出来ます。

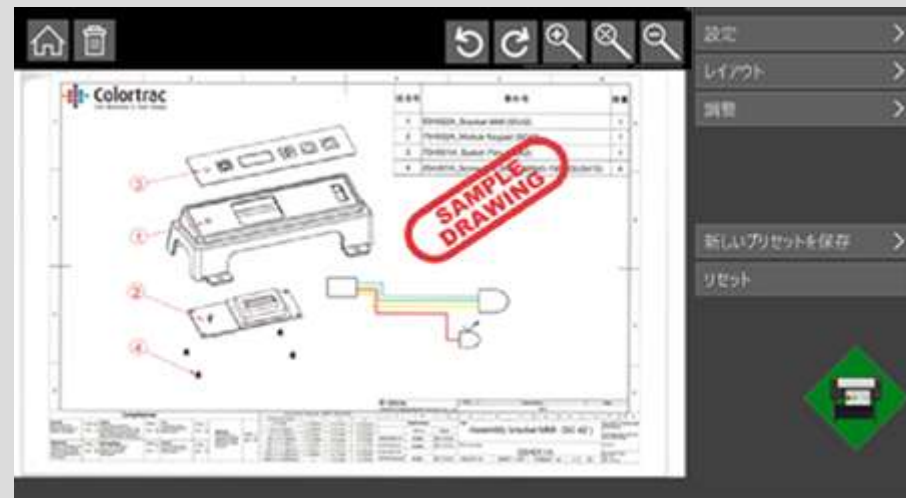


## プリント機能：プリント設定項目

ファイル	検索（単一ページファイルの PDF、JPG、TIFF のみ）	倍率	拡大、縮小	
ページ	マルチ PDF の場合、印刷するページを選択します。	ロールサイズに合わせてプリント	プリンターにセットしたロール紙の最大幅に合わせて画像サイズを自動で調整します。	
コピー部数	1 部から最大 99 部	%	<b>100%</b>	
印刷位置	<u>左</u> /中央/右	ISO	入力：A4/A3/A2/A1/A0	出力：A4/A3/A2/A1/A0
品質	ドラフト／標準／高品質	ANSI	入力：A/B/C/D/E/E+	出力：A/B/C/D/E/E+
		ARCH	入力：A/B/C/D/E/E1	出力：A/B/C/D/E/E1
		JIS	入力：B4/B3/B2/B1/B0	出力：B4/B3/B2/B1/B0
		用紙サイズ	入力：定型サイズ	出力：定型サイズ
		印刷自動回転	オン/ <b>オフ</b> プリンターにセットしているロール紙の印字可能幅より画像の長辺側が短い場合に、自動で画像を回転します。倍率を“ロールサイズに合わせて印刷”に設定すると、印刷自動回転は適用されません。	

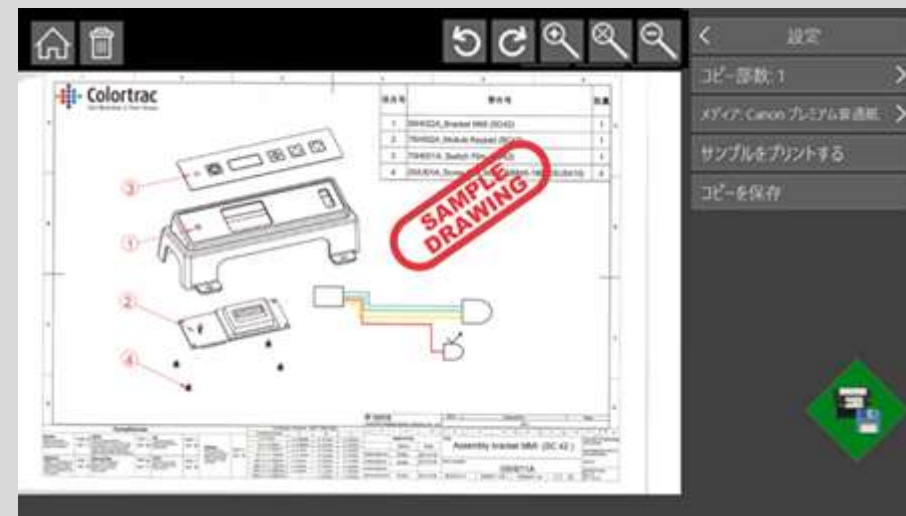
# プレビュー

画像編集	プレビュー設定を参照してください。
	ズームイン / プレビュー画面にフィット / ズームアウト 2本指でのジェスチャー操作で画像の拡大、縮小ができます。また1本の指で画像をプレビューウィンドウの大きさに合わせて表示できます。
	左回転 / 右回転
	緑のアイコンをタップして編集した画像を保存、またはプリント出力します。プレビュー画面が閉じて機能のページに戻ります。また <b>設定</b> のメニューの <b>サンプルプリントをコピー／プリント</b> を選択し、調整を継続できます。
	ホーム画面に戻ります。 スキャン：スキャン画像は元のプリセットの設定が施された状態で保存されます。（プレビューで編集された調整はキャンセルされます） コピー：スキャン画像は、保持されません。
	ホーム画面に戻ります。スキャン画像は削除されます。（スキャンのみ）
新しいプリセットを保存する	現在の設定を新しいプリセットとして保存します。
リセット	全ての変更内容をキャンセルし、元のプリセット数値に戻します。



## プレビュー：設定

コピー	1部から最大99部	コピー部数の変更（コピー/プリントのみ）
メディア		出力する用紙の切り替/変更（コピー/プリントのみ）
サンプルをプリント		プレビュー画像の印刷とプレビュー画像の保持（コピー/プリントのみ）
コピー保存		プレビュー画像の保存とプレビュー画像の保持（スキャン/編集のみ）
排紙トレイ	前方/上方	（プリンターがトレイ選択をサポートしている場合のみ（コピー/プリントのみ））



# プレビュー：レイアウト | 傾き補正/回転

傾き補正

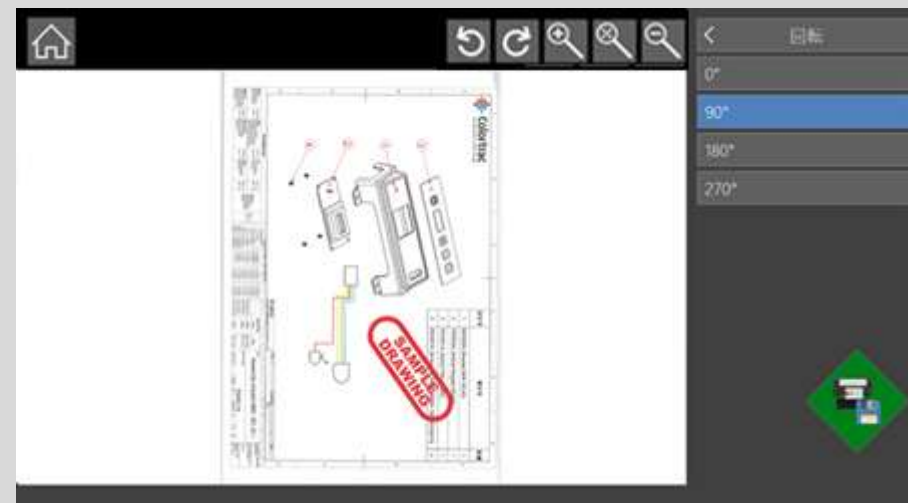
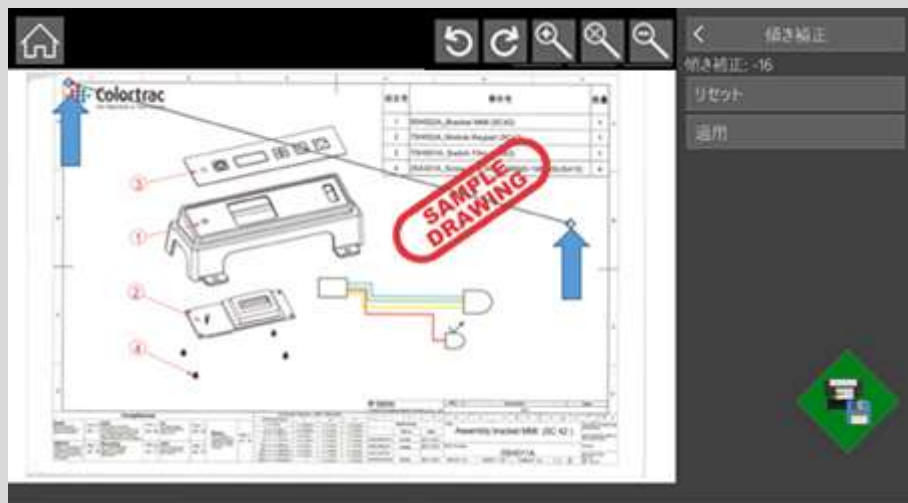
リセット/適用

自動傾き補正がオンの場合に、[傾き補正]を選択するとオフに切り替わり、手動での調整が可能になります。画像の水平が確認できる線の両端に基準点を配置して傾きを補正します。画像を拡大するとより正確に行えます。

回転

0/90/180/270

画像を 90 度、180 度、270 度回転します。



# プレビュー：レイアウト | 切抜き/ミラー

切抜き

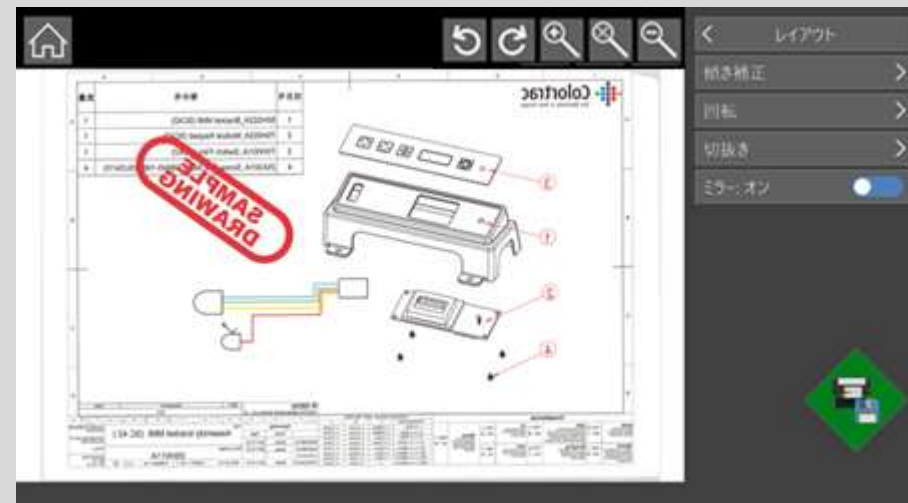
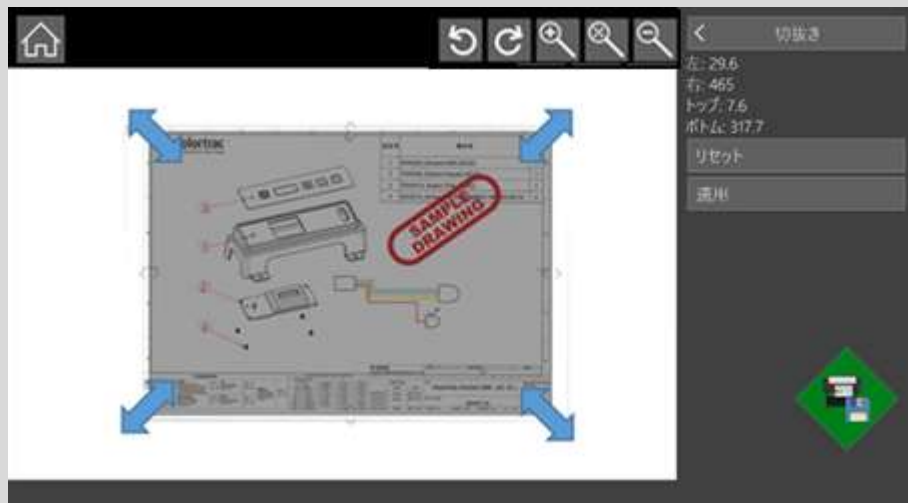
リセット/適用

プリント、保存したい画像のエリアに切抜きボックスを配置します。切抜きボックスを画像の外までドラッグして拡大したり、画像の外に余白を作成したり、傾き補正後に拡大された余白域や不要な余白を削除することが可能です。

ミラー

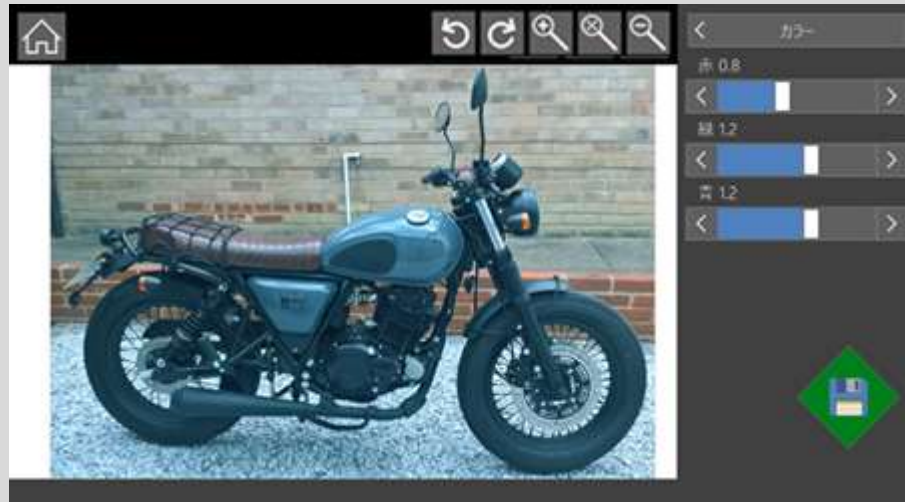
オン/オフ

画像を水平方向に左右反転します。

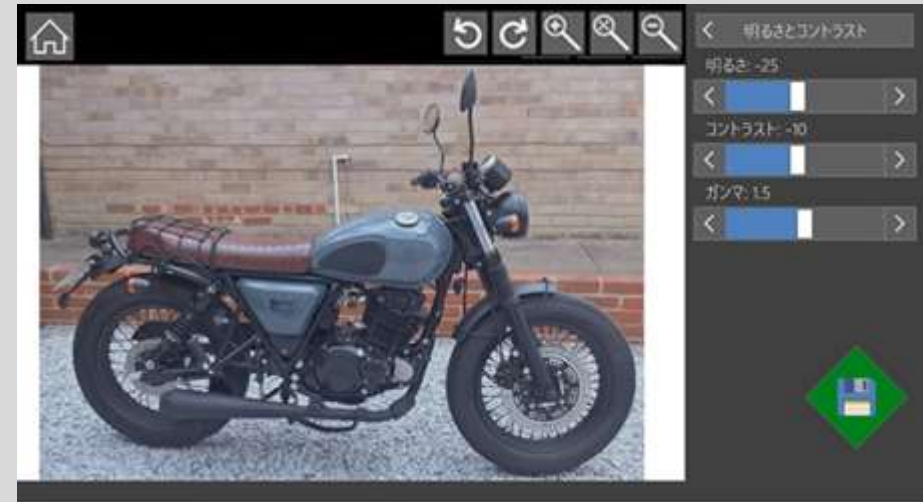


## プレビュー：調整 | 色の変更/明るさとコントラスト

色の変更			画像の赤、緑、青の数値を調整します。 (カラー画像のみ)
赤	0. .1. .2		画像の赤の数値を調整します。
緑	0. .1. .2		画像の緑の数値を調整します。
青	0. .1. .2		画像の青の数値を調整します。



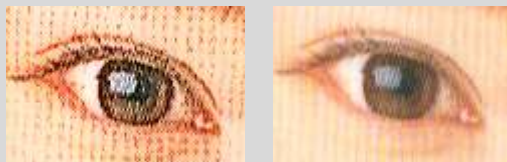
明るさとコントラスト			
明るさ	-255. .0. .255		画像全体を明るく、または暗くします。
コントラスト	-100. .0. .100		画像の明るい部分と暗い部分との明暗の差を調整します。
ガンマ	0.1. .1. .3		暗い領域と明るい領域の境界の表現を調整できます。



## プレビュー：調整 | シャープネス

シャープネス		ラインやエッジを強調します。
量	0...100	適用するシャープの量を設定します。値が大きければ大きいほどエッジピクセル間のコントラストが増し、シャープさが強調されます。
半径	0...20	シャープの影響を受ける輪郭周辺の幅を設定します。半径の値が大きいほど適用される範囲は広くなり、シャープな画像になります。
しきい値	0...255	シャープを適用しない範囲を設定します。設定した値が周囲のピクセル値を超えると、シャープニングの対象として判断されます。

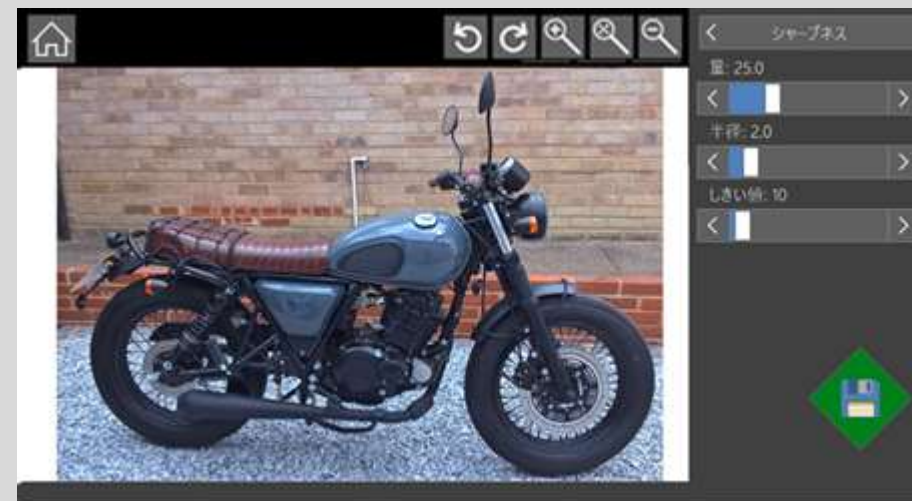
シャープネスを使用すると画像の細かい部分を強調します。線画や文字をくっきりと表現するのに最適ですが写真などには向いていません。場合によっては、画面上やプリント時のモアレを引き起こす原因となります。写真などのスキャンにはシャープネスが入っていない、または最小限にした「フォト」や「グラフィック」プリセットが有効です。モアレの影響を減らす方法としてはスキャンの解像度を変更したり、原稿の挿入角度を変えたりすることで改善できる場合があります。モアレ（干渉縞）とは、規則正しい繰り返し模様を複数重ね合わせたときに、それらの周期のズレにより発生する縞状の周期的なパターンのことです。



300dpi シャープネスを使用した画像と使用しない画像

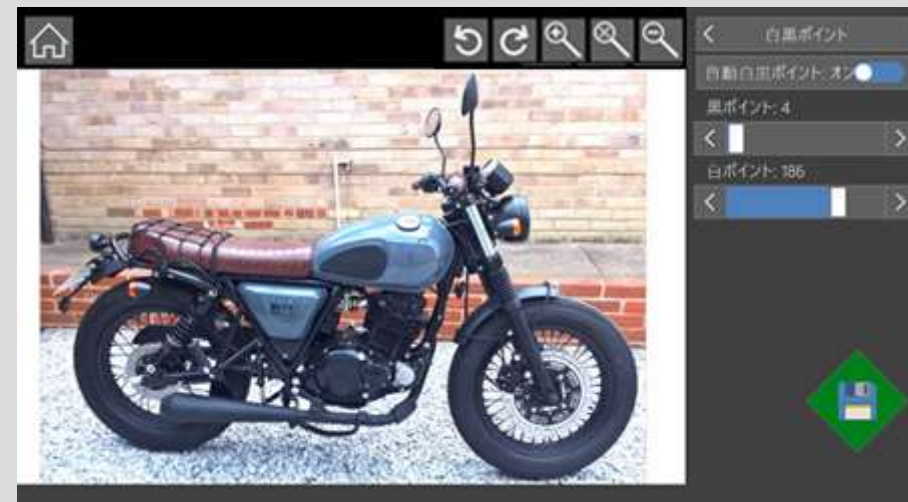


600dpi シャープネスを使用した画像と使用しない画像



プレビュー：調整 | 白黒ポイント (カラー/グレー プリセット時)

白黒ポイント			
種類			
標準			色のスムーズなグラデーションを可能にします。
しきい値			数値以内の色は変換しません。
白黒ポイント			
自動白黒ポイント	オン/オフ		画像の内容に合わせて自動で白黒ポイントが設定されます。
黒ポイント	0...254		画像のとても暗い部分の色を黒にします。
白ポイント	1...255		画像のとても明るい部分を白にします。
量 (しきい値のみ)	1...5		数値を超えた色は強制的に白になります。



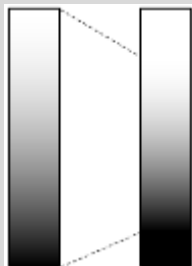
## プレビュー：調整 | 白黒ポイント種類の解説

白黒ポイント 種類： しきい値 / 標準

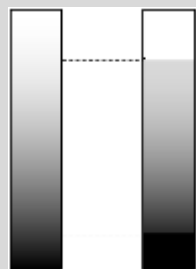
白黒ポイントに適用される方法を定義します。どちらの方法も白黒ポイントの数値を超えた色を強制的に白や黒に近づけますが数値以内の色の取り扱いに違いがあります。

標準白黒ポイントは数値以内の色のスムーズなグラデーションを可能にします。写真など、全体的に自然な色で表現されます。

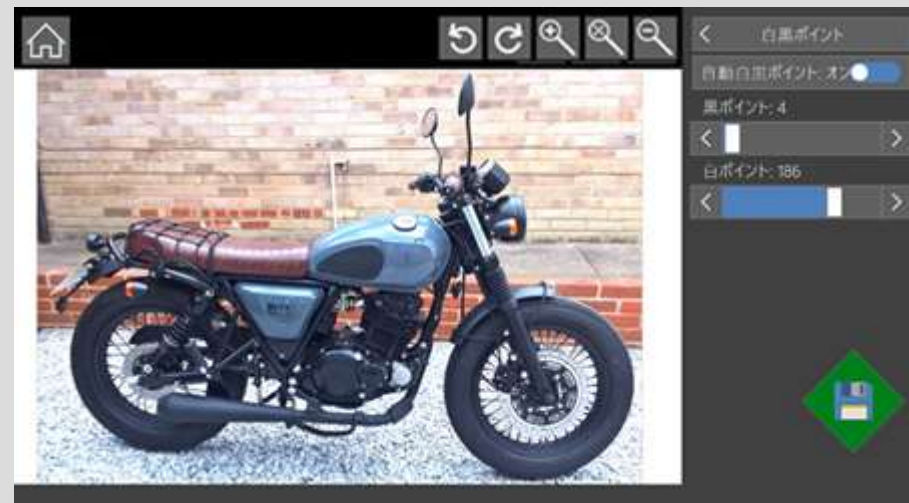
しきい値を使った白黒ポイントは数値以内の色は変換しません。色の精度を重視する場合にはこちらの方法が適しています。



標準



しきい値



# プレビュー：調整 | 白黒ポイント種類 (白黒/青焼きプリセット時)

しきい値	
種類	
シンプル	
最適化	
しきい値 - シンプル	0...255
しきい値 - 最適化	-10...20

ピクセルを黒、または白にする基準を設定します。数値が高いほどより多くのピクセルが黒にセットされます。

**シンプルしきい値**は画像全体にシンプルなしきい値を設定します。汚れが少なく、きれいな原稿のスキャン画像に、より効果的です。

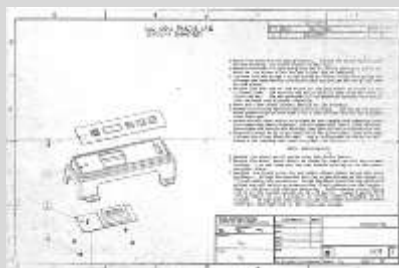
**最適化しきい値**はスキャンの画像データに合わせてしきい値を最適化します。汚れた画像を調整するのに効果的です。



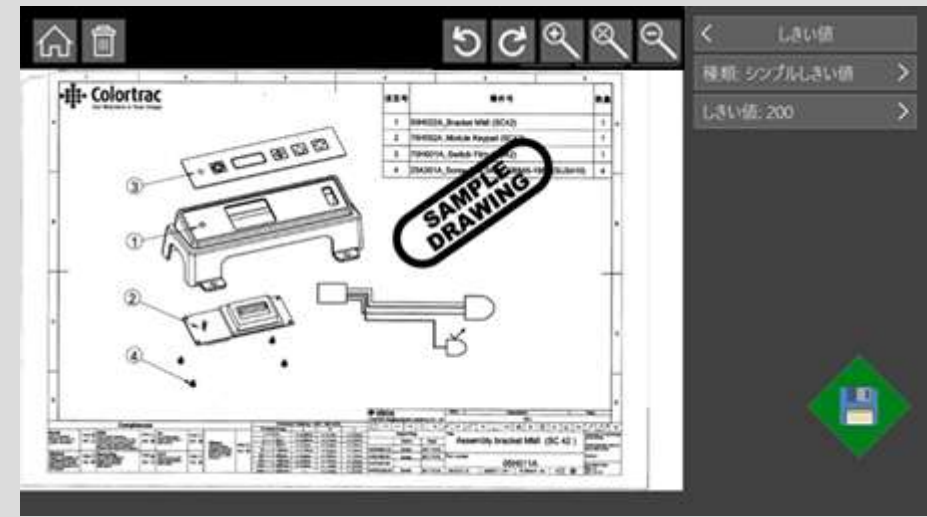
原稿



シンプル



最適化



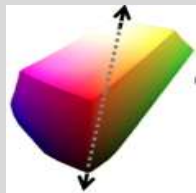
## プレビュー：調整 | レンダリングインテント (カラープリセットのみ)

レンダリングインテント  
(カラーのみ)

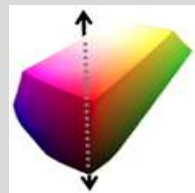
絶対白ポイント/  
相対白ポイント

スキャナーのカラーデータをどのように表現するか定義  
します。

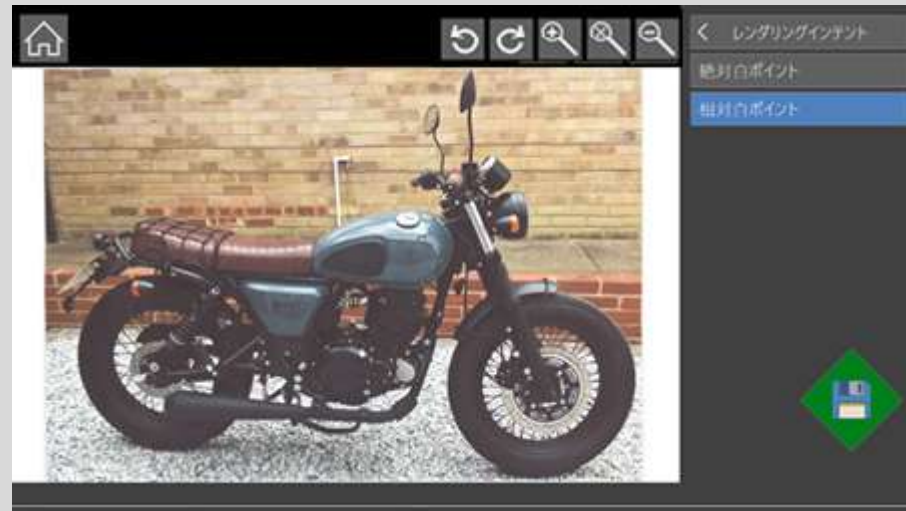
相対白ポイントは自然な白色を表現し、写真、きれいな白地などの原稿に有効です。  
絶対白ポイントは相対白ポイントに比べ、色の変化が少ないため、色の精度を重視する場合に有効で  
す。



相対白ポイント



絶対白ポイント

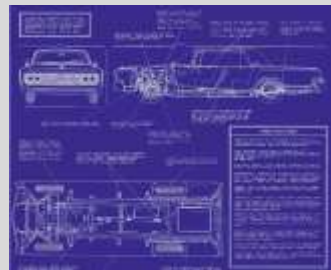


## プレビュー：調整 | 反転

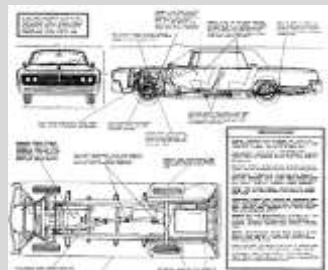
色の反転

オン/オフ

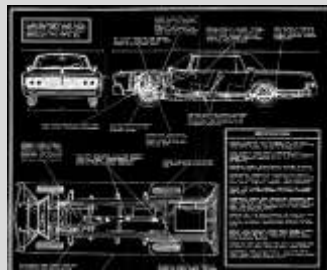
カラーのプリセット：ネガ画像を作成します。  
白黒のプリセット：色を反転します。暗いバックグラウンドにある白の線を白のバックグラウンドの暗い色の線に変換します。



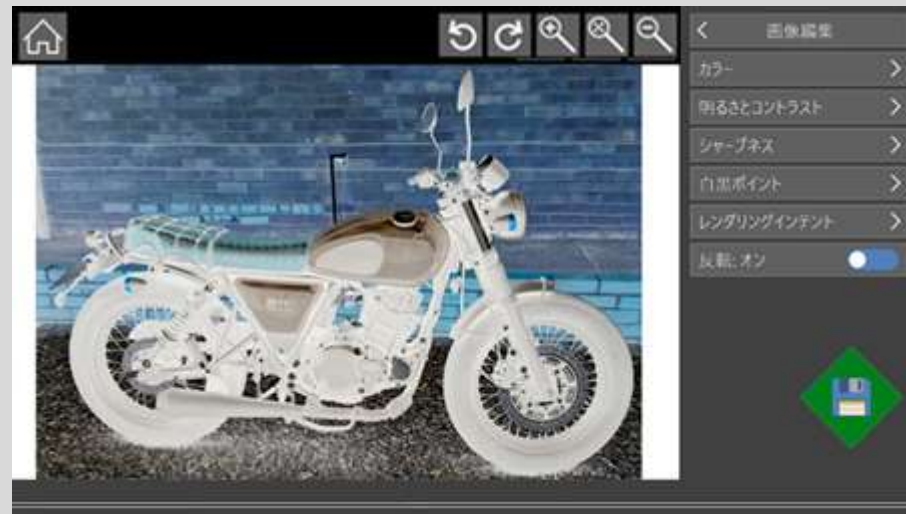
原稿



白黒反転=オン



白黒反転=オフ

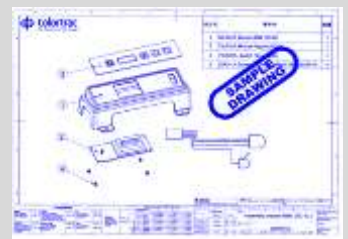


# プレビュー：調整 | ブループリント 3

青	青色のしきい値
赤	赤色の許容値（赤色の基準値に依存します）
赤基準値	赤色の基準値（赤色を0に設定すると、すべてが青色に変換されます）



原稿	赤色と青色に変換する	青色に変換する
----	------------	---------



🏠
🗑️

↶
↷
🔍
🔍

← ブループリント3

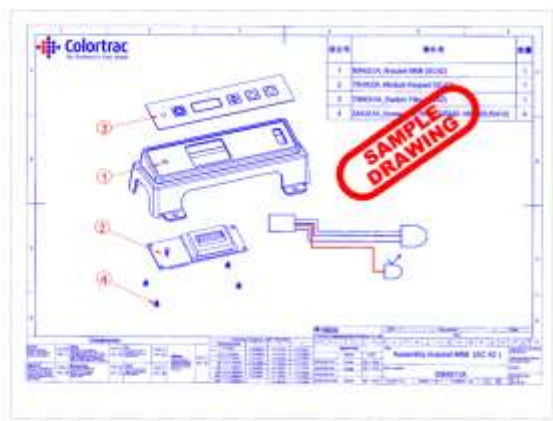
青 206

←  →

赤 34

←  →

参照 (232,75,75) →



## 新しいプリセットの作成方法

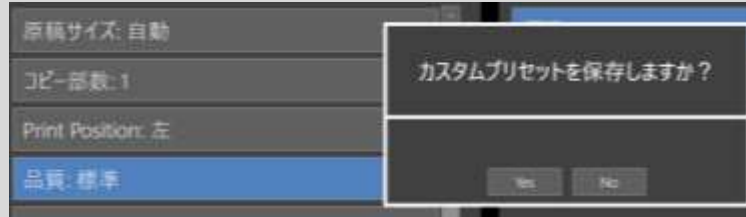
ユーザーアカウントが有効になっている場合、新しいプリセットを作成する機能は、管理者によって割り当てられたそのユーザーの権限によって異なります。

プリセットを保存する方法は、以下の3種類です。

1. 各機能（コピー、スキャン、コピー&アーカイブ）ページからの作成



使用されているプリセットの設定が変更された場合、プリセット名は「カスタム」に変更され、括弧内に基になっているプリセットの名前が表示されます。ホームボタンを押すと、現在の設定を新しいプリセット名で保存できます。



2. プレビューページからの作成  
[新しいプリセットを保存] ボタンをタップすると、現在の設定を新しいプリセット名で保存できます。
3. 設定ページからの作成  
設定-プリセットを参照してください。



## スキャン to USB メモリー



USB メモリーがコントローラーに差し込まれるとホーム画面に USB メモリーのアイコンが表示されます。  
スキャンした画像は自動的に USB メモリーに保存されるように設定され、USB メモリー内のサブフォルダーの検索が可能になります。  
USB メモリーを取り外す時は USB メモリーのアイコンをタップします。  
USB メモリーをコントローラーから引き抜く前に必ず USB メモリーのアイコンをタップして安全に取り外してください。  
また、USB メモリーからファイルを削除したり、システムコントローラーから USB メモリーにスキャンファイルをコピーする事も可能です。

### USB メモリー

- ・対応フォーマット : FAT32/exFAT/NTFS
- ・インターフェース : USB2.0/USB3.0 以上

注 : パスワード認証の暗号化機能付き USB メモリーは動作対象外です。  
注 : システムイメージの更新にも使用する USB メモリーの場合は、NTFS または exFAT でフォーマットしてご利用ください。



## ロングスキャンモード

ロングスキャンモードを有効にすると、プレビューモードと連続スキャンモードが自動的にオフになり、ロングスキャンモード用で使用できる設定項目が一覧表示されます。

- プリセット：カラー/グレー/白黒のカラーモードそれぞれで、解像度 200dpi または 300dpi の組み合わせの合計 6 パターンから選択できます。
- 原稿サイズ：自動、自動から最も近い標準、および全幅（長さを自動的に設定）が拡張され、最大スキャン長が 50m（1968.5 インチ）になります。
- ファイル圧縮：カラーまたはグレーのロングスキャン用に調整可能で、他のプリセットから独立しています。パーセンテージが低いほどファイルサイズは小さくなりますが、画質は低下します。
- 以下の設定は、固定され変更できません。
  - 品質：スキャン解像度 200dpi または 300dpi（プリセットで切替）
  - ファイルの種類：PDF
  - 輪郭強調：オフ
  - Eメール：オフ
  - クラウド：オフ



ロングスキャンモード

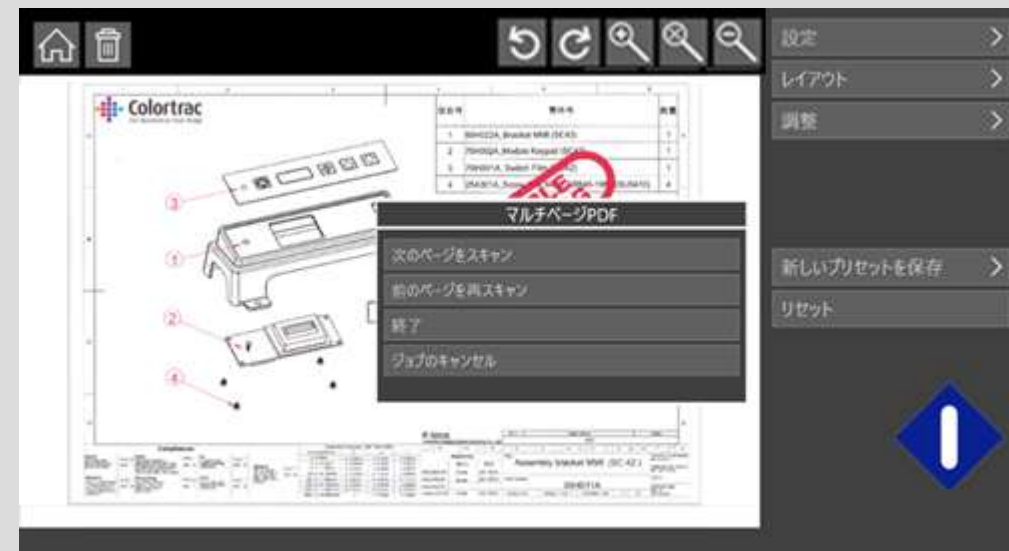
## 連続モードとマルチスキャン

連続モード（プレビューあり、なし）

1. スキャナーに原稿をセットします。
2. 緑の開始アイコンをタップして一枚目の原稿をスキャンします。
3. プレビューが有効な場合、必要であればスクリーンに表示される画像に編集を施します。（編集はこのスキャン画像にのみ適用されます。）
4. 次の原稿をセットします。スキャナーに次の原稿がセットされると先ほど編集を施した画像がファイル保存、またはプリント出力されます。
5. 青のアイコンをタップすると連続スキャンを終了します。青のアイコンをタップすると編集を施した最後の原稿を保存、またはプリントしてホーム画面に戻ります。

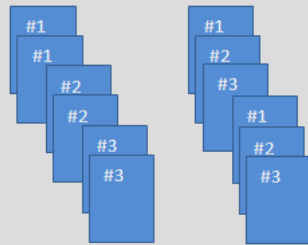
マルチページスキャン

1. スキャナーに最初の原稿をセットします。
2. 緑の開始アイコンをタップして一枚目の原稿をスキャンします。
3. プレビューが有効な場合、スクリーンに表示される画像に編集を施すことができます。
4. 次の原稿をセットします。スキャナーに次の原稿がセットされると先ほど編集を施した画像がファイル保存、またはプリント出力し、自動的に次の原稿をスキャンします。
5. 青の終了アイコンをタップするとマルチ PDF のスキャンを停止して下記のオプションを表示します。
  - a. 次のページをスキャン（終了せずに次の原稿をスキャン）
  - b. 前のページを再スキャン（前のページを削除し、次のページと差し替える）
  - c. 終了（マルチ PDF ファイルを閉じる）
  - d. ジョブのキャンセル（マルチ PDF スキャンの全てのジョブをキャンセル）



## コピー：ソート

複数原稿の部数指定コピーを行う際に、グループコピーかソートコピーを設定します。設定された順序に部数出力されます。



例) ソート：オフ (グループコピー)    ソート：オン (ソートコピー) 123..., 123...

### ソートの設定

1. スキャナーに原稿をセットします。
2. 緑の開始アイコンをタップしてセットの一枚目の原稿をスキャンします。
3. プレビューが有効な場合、画像に編集を施すことができます。
4. 次の原稿をセットします。スキャナーに次の原稿がセットされると先ほど編集を施した画像が保存され、自動的に次の原稿をスキャンします。
5. 青のアイコンをタップするとソートの機能を停止し、下記オプションが表示されます。
  - a. 次のページをスキャン (終了せずに次の原稿をスキャン)
  - b. 前のページを再スキャン (前のページを削除し、次のページと差し替える)
  - c. プリント (ソートの順序を選択)
  - d. ジョブのキャンセル (すべてのジョブをキャンセル)



# 設定

管理者及びパワーユーザーは、適切な権限が有効になっている場合にのみアクセスできます。

プログラム環境設定

SmartWorks MFP のデフォルト設定を定義します。

プリンターの設定

プリンターの追加・削除、プリンターポートの追加、プリンターステータスのポーリング間隔を設定します。

スキャナー設定

スキャナー解像度 (dpi) やスキャン速度の変更、スキャン原稿排紙オプション、自動メディア幅、自動傾き補正の設定、メンテナンスの実施

ファイル設定

デフォルトのスキャンフォルダーと JPEG、PDF ファイルの圧縮率を設定します。

プリセット

プリセットの作成、編集、削除。ユーザーが作成したプリセットのインポート、エクスポート。

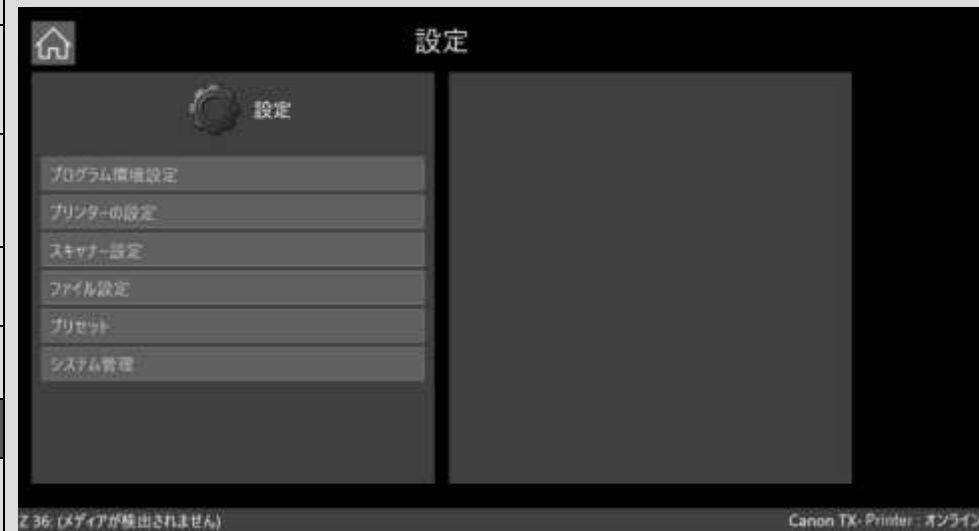
管理者のみ

システム管理

管理者パスワード、権限、ユーザーアカウント、ファイル管理、Eメール設定、アカウント、プリンターヘルプ、スキャナー設定

システム設定：

システムの更新と回復、工場出荷時のデフォルト設定、日付と時刻の設定、タイムゾーン、ネットワーク設定、システムセキュリティの更新、リモート管理、システムログのエクスポート。



## 設定：プログラム環境設定

プログラム環境設定	プレビュー：スキャン画像を表示し、画像に編集を施すことができます。 連続モード：スキャナーに原稿が挿入されるとスキャンを開始します。
長さの単位	単位を選択します。（ミリメートルまたはインチ）
言語	SmartWorks MFP で使用する言語を選択します。
ソフトウェアリセットタイム	ソフトウェアが一定の時間使用されない場合に、プログラム環境設定のデフォルト値にリセットし、ユーザーアカウントでログインしている場合は現在使用しているユーザーをログアウトし、コントローラーをスリープモードにします。（Energy Starの最大時間は15分です）画面または、電源ボタンを1回タッチする事でスリープは、解除されます。
ホーム画面に表示する機能	ホーム画面に表示する機能を選択します。
原稿サイズの表示	定型サイズを選択できます。 ユーザーによって設定された用紙サイズを選択できます。（6サイズ） 一番近い定型サイズにマージン（許容範囲）を設定できます。 枠のトリミングで印刷前のスキャン画像から削除する領域を設定できます。
テーマ	暗い、または明るい
スライドメニュー	<b>オン/オフ</b> [機能]と[設定]の右側メニューは、サブメニューへ移動するときにスライドするか、所定の位置にスナップするかを選択できます。



Z 36 (メディアが検出されません)

Canon TX- Printer : オンライン

## 設定：プリンターの設定

プリンターの設定	インストールしたプリンターポートを変更、または新しいポートを作成します。 インストールされている別のプリンターを選択します。
新しいプリンターをインストールする	新しいプリンターをインストールします。システムがプリンターを検索し、交信します。 プリンターがオンラインであることを確認して下さい。
プリンターの削除	インストールされたプリンターをリストから削除します。
インクレベル	現在のインクステータスを表示します。
プリンターメンテナンス	プリンターのクリーニングやプリンターのテストプリントをプリントすることができます。
プリンターモニター	プリンターポーリング：ソフトウェアとプリンター間の更新の頻度を設定します。 SmartWorks MFP は定期的にプリンターと交信し、プリンターのステータスを取得します。ネットワークの障害でこの交信が正しく行われない場合、プリンターモニターをオフにしてください。オフにした場合、ソフトウェアはプログラムがスタートした時、緑のボタンをタップ、またはアップデートのボタンをタップした時のみにプリンターとの交信をします。
ローカルメディアテーブルを更新	新しいメディアの情報がプリンターに搭載されたとき、または新しいメディアタイプが追加されたときにメディアテーブルを更新します。
プリンタージョブログパスワード	SmartWorks MFP がプリンターのログデータにアクセスできるように、プリンターの管理者パスワードを入力します。



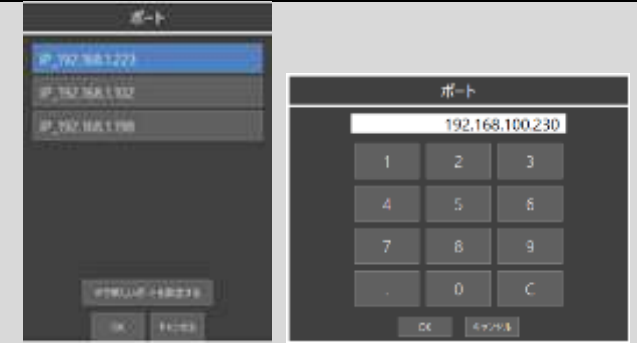
## 設定：プリンターの設定

### プリンター設定

1. 表示されるプリンターのリストからプリンターを選択します。現在のポートが表示されます。



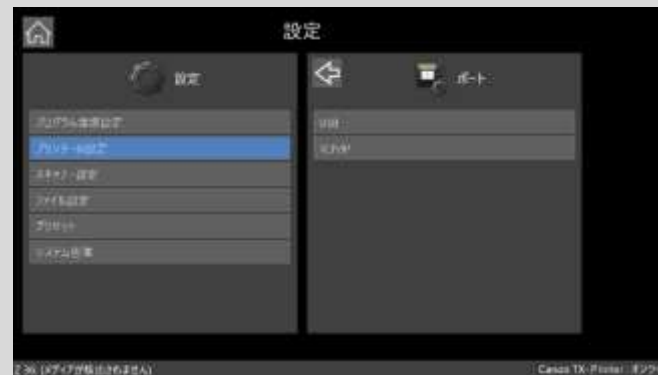
2. プリンターの接続を変更する場合はポートの設定で行います。
3. ポートを選択、または新しいポートの IP アドレスを入力します。



## 設定：新しいプリンターをインストールする

新しいプリンターをインストールします。

1. プリンターのモデルを選択する
2. ポートの種類を選択する



### TCP/IP

3. IPアドレスで新しいポートを設定します。プリンターが接続されていてオンラインであることを確認して下さい。プリンターが検知されるのを待ちください。



### USB

4. プリンターが接続されていてオンラインであることを確認して下さい。プリンターが検知されるのを待ちください。

注記：USBで接続できるプリンターは一台のみです。



## 設定：スキャナーの設定とメンテナンス

注：このメニューは、スキャナーがオンラインの場合のみ利用可能です。

DPI	スキャンの解像度 (dpi) をそれぞれのモード毎 (ドラフト、標準、高品質) に変更することができます。
スキャンスピード	スキャンスピードは次のように設定することができます。 100% = フルスピード、50% = ハーフスピード、33% = 1/3 のスピード、25% = 1/4 のスピード デリケートな原稿をスキャンする時、またはスキャンが滞ったり、止まったりする場合は遅めのスピード設定でスキャンすることをお勧めします。
原稿排紙設定	スキャン後の原稿の取り扱い方法について設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>原稿を排紙する：原稿はスキャナー後方のローラーから排紙されます。</li><li>原稿を保持する：原稿はスキャナー後方のローラーに保持されます。排紙するにはスキャナーにある「原稿を前に進めるボタン」を押します。次のスキャンを開始する前に必ず原稿を排紙してください。</li></ul>
自動原稿幅	自動原稿幅モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>標準モード：スキャナー内部の自動原稿幅検知アルゴリズムを使用し、読み込み時に認識した原稿幅で画像を表示します。</li><li>ベストモード：全幅でスキャンを行い、スキャン完了後にソフトウェアアルゴリズムを使用して原稿幅に画像をトリミング処理します。</li></ul>
自動傾き補正	スキャンされた画像の傾きを自動的に補正します。ドキュメントの傾きが大きい場合、スキャン画像が切り取られてしまう場合があります。そのような場合は、傾きを最小限に抑えて原稿を再度スキャンします。



Continued

## 設定：スキャナーの設定とメンテナンス

### スキャナーメンテナンス

#### 省電力時間（分）

「省電力時間（分）」はスキャナーに動作がなく、スキャナーがスリープモードに移行するまでの時間を示します。デフォルトでは15分と設定されています。最長60分まで設定できます。

（Energy Star の最大時間は15分です）

#### キャリブレーション

キャリブレーションとオートステッチは同梱のターゲットシートを使用します。

- スキャナーを清掃します。
- 必ずスキャナー背面のペーパーリターンガイドを取り外してください。
- スキャナーにキャリブレーションシートをセットします。白と黒の面を上にして黒い側からスキャナーに挿入します。（シートは汚れがついてなく、完全な状態であることを確認して下さい。）
- シートは数回スキャナーの中を前方または後方に搬送されます。
- シートをスキャナーから取り外し、元のケースに戻し、大切に保管してください。

#### ファームウェア

ファームウェアのバージョンを表示、またはスキャナーにファームウェアを送信します。

#### エンジニアメニュー

※パスワードが必要です。サービスマニュアルを参照してください。

- パラメーターの調整：モータースピード、マニュアルステッチ、原稿セット
- 前回保存したスキャナーのパラメーター値に設定する。（スキャナーのパラメーター値は自動的に保存されます。）



## スキャナーメンテナンス：クリーニング

### スキャナーの清掃

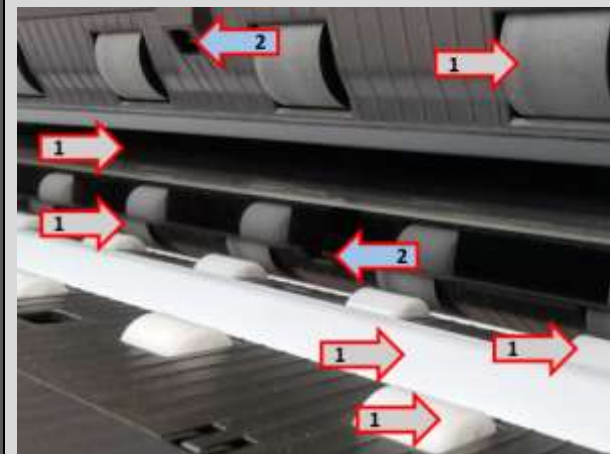
1. OAクリーナー、アルコール（イソプロピルアルコール）などのクリーナーを清潔で糸クズのでない布に吹き付けます。
2. エアーダスター



1. スキャナーカバーの下
  - スキャンガラス
  - 2列のドライブローラー（ドライブローラーの一つを指で奥へ押しながら回すと、全てのドライブローラーが回転し、ローラー全体を拭くことができます。）

#### 筐体の下側

- ホールドアッププレート
  - 2列のピンチローラー（手でローラーを回し、ローラー全体をきれいにします。）
2. スキャナーカバーの下
    - 2個のペーパーセンサー



### 消耗品

- 下記消耗品は販売店よりご購入いただけます。
- キャリブレーション／ステッチターゲット

## スキャナーメンテナンス：スキャンガラスの交換（サービスマン実施）

1. スキャナーの両端のラッチを引き上げてスキャナーを開きます。
2. マイナドライバーを左側の切込みに差し込み、ガラスを押し出します。



3. 右方向に向かって慎重にガラスをスキャナーから離していきます。ガラスの片方だけを無理に引っ張らないでください。ガラスが壊れる場合があります。



4. ガラスをスキャナーに取り付ける前に糸くずのでないきれいな布でガラスの裏側を清掃します。再度スキャナーに取り付けるとき、清掃した部分に触らないように気を付けてください。



5. ガラスがスキャナーの切込みに入るようにガラスを位置付けます。
6. ガラスの中央を支え、慎重にガラス全幅を切込みに差し込みます。
7. ガラスの表面を清掃し、スキャナーを閉じます。



### 注記：

ガラスユニットからロックタブの一つが取り外されています。再装着する時に取り外されたロックタブ側をスキャナーの下部シャーシ側に向けて装着する必要があります。



スキャナーのキャリブレーションを行います。

## スキャナーメンテナンス：ホールドアッププレートの交換（サービスマン実施）

1. スキャナーの両端のラッチを引き上げてスキャナーを開きます。

2. 指先でスキャナー全幅のホールドアッププレートを慎重にスプリングブラケットから外します。

3. 慎重にホールドアッププレートをスキャナーから取り出します。



5. スプリングブラケットの横にある溝にホールドアッププレートを接着テープが付いた側を上にして合わせます。



4. 新しいホールドアッププレートの裏側の接着テープの接着保護テープを剥がします。



6. ホールドアッププレートをスプリングブラケットにしっかりと全幅を押して接着します。

7. ホールドアッププレートをきれいに拭いてスキャナーを閉じます。

8. スキャナーのキャリブレーションを行います。



## 設定：ファイル設定

スキャン to フォルダー（デフォルト） 管理者のみ	デフォルトのスキャンフォルダー 工場出荷時に設定されているデフォルトのスキャンフォルダーは D : ¥ MFP ¥ スキャンですが、サブフォルダーまたはネットワーク/ FTP サーバーに設定を変更できます。
ユーザースキャンフォルダー	ユーザーアカウントが有効な場合、ユーザーが使用するスキャンフォルダーを選択できます。
圧縮ファイルの画質レベル	JPG と PDF ファイル（カラー/グレー）の圧縮は品質モードごとに合わせて設定することができます。数値が低い程小さいサイズのファイルを作成しますが画質は低くなります。

### 注記：スキャンフォルダープライオリティ

使用するスキャンフォルダーは下記の優先順位で設定されます。（優先順位が高い順番）

1. ユーザースキャンフォルダー（管理者がユーザーアカウントでこのフォルダーを有効にしている場合）
2. デフォルトスキャンフォルダー  
ローカルピクチャーフォルダー（デフォルトのスキャンフォルダーにアクセスできない場合）



## 設定：プリセット

新しいプリセット	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作成したいプリセットの種類を選択します。</li> <li>2. 現在あるプリセットを選択し、新しい名前を付けます。(20文字以内)</li> <li>3. よく使うプリセットとして設定し、リストのトップにそのプリセットを配置します。</li> <li>4. 「プリセットの表示」をオンに設定し、機能のページに表示されるようにします。</li> <li>5. ユーザー / 汎用を設定します。(現在のユーザーのみ、または全てのユーザーが見れるように設定します。)</li> <li>6. プリセットの設定：品質、コピー、スキャン、フィルター</li> </ol>
プリセットの編集	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 編集したいプリセットの種類を選択します。</li> <li>2. 編集するプリセットを選択します。</li> <li>3. よく使うプリセットとして設定し、リストのトップにそのプリセットを配置します。</li> <li>4. 「プリセットの表示」をオンに設定し、機能のページに表示されるようにします。</li> <li>5. ユーザー / 汎用を設定します。(現在のユーザーのみ、または全てのユーザーが見れるように設定します。)</li> <li>6. ユーザーによって作成されたプリセットの場合、設定の編集ができます。(品質、コピー、スキャン、フィルター)</li> </ol>
ユーザープリセットの削除	<p>ユーザーによって作成されたプリセットのみ、削除することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 削除したいプリセットの種類を選択します。</li> <li>2. 削除するプリセットを選択します。</li> </ol>
デフォルトプリセット	機能ごとのデフォルトプリセット。
プリセットのインポート、エクスポート	作成されたカスタムプリセットは「プリセットのインポート」または「プリセットのエクスポート」ができます。



## 設定：システム管理（管理者専用）

管理パスワード	SmartWorks MFP の管理者ユーザー名とパスワードを作成し、システム 管理設定へのアクセスを制限します。ユーザーアカウント設定がオフの場合のみ使用可能です。管理者詳細情報の紛失にご注意ください。紛失するとシステムにアクセスできなくなります。
権限	ユーザーアカウントが無効の場合にのみ利用できるメニューです。プリセットの保存、フォルダー選択、ネットワークフォルダー選択、ファイル名の変更、USB ドライブの検出、Eメール/クラウドへのスキャン、クラウドからのプリントを設定できます。
ユーザーアカウント	ローカル・ユーザー・アカウントまたは アクティブディレクトリ・ユーザー・アカウントのいずれかを有効にします。
ファイル管理	システムコントローラーのスキャンファイルを削除したり、スキャンファイルを USB メモリーにコピーする事が可能です。
Eメール設定	Eメールの設定を行います。
アカウント設定	有効にすると、ユーザーがスキャン・コピー時に最大7つの属性項目に入力することができます。（プリンターにより項目数が異なります）
プリンタヘルプ	オンラインプリンタヘルプページへのアクセスを有効にします。
スキャナー設定	スキャナー値の表示とエクスポート。（スキャナー値は自動的に保存されます。スキャナーが接続されていない場合でも、このメニューは常に利用可能です。）
システム設定	次のページを参照してください。



## 設定：システム管理（管理者専用、ユーザーアカウント有効時）

ユーザーアカウント	ローカル・ユーザー・アカウントまたは アクティブディレクトリ・ユーザー・アカウントのいずれかを有効にします。
ファイル管理	システムコントローラーのスキャンファイルを削除したり、スキャンファイルを USB メモリーにコピーする事が可能です。
共有フォルダー	共有フォルダーを作成し、選択したユーザーと共有できます（下記参照）
Eメールの設定	Eメールの設定を行います。
アカウントिंग	有効にすると、ユーザーがスキャン・コピー時に最大7つの属性項目に入力することができます。（プリンターにより項目数が異なります）
プリンターヘルプ	オンラインプリンタヘルプページへのアクセスを有効にします。
スキャナー設定	スキャナー値の表示とエクスポート。（スキャナー値は自動的に保存されます。スキャナーが接続されていない場合でも、このメニューは常に利用可能です。）
システム設定	システム更新/復元、工場出荷時設定、日付と時刻の設定、タイムゾーン、ネットワーク設定、システムセキュリティ更新、リモート管理、システムログのエクスポート



## 設定：ユーザーアカウント（管理者専用）

ユーザーアカウント	<p><b>オン/オフ</b> 初めて有効にした場合、ローカルに SmartWorks 管理者のユーザー名とパスワードを作成します。管理者は常に SmartWorks MFP のローカルアカウントであり、設定ページのみアクセスすることができます。管理者詳細情報の紛失にご注意ください。紛失するとシステムにアクセスできなくなります。</p>
ユーザーアカウント	
ローカルユーザー	SmartWorks MFP 内部のユーザーアカウントのみ対象です。
アクティブディレクトリ	アクティブディレクトリサーバーのユーザーアカウントは、関連するホームフォルダーおよびメールアドレスと共に使用されます。
ユーザーの編集	ユーザー名、パスワード、レベルの設定をします。（パワーユーザー、またはユーザー）ユーザーのスキャンフォルダーオン/オフ、ユーザーのスキャンフォルダーパスアクティブディレクトリのユーザーは、システムコントローラーにログオンした後でなければ編集することができません。ユーザーレベルやスキャンフォルダーを設定することができます。（ドメインコントローラーへの変更は行われません）
ユーザーの追加*	ユーザー名、パスワード、レベルの設定をします。（パワーユーザー、またはユーザー）ユーザーのスキャンフォルダーオン/オフ、ユーザーのスキャンフォルダーパス。フォルダー共有を許可します。
ユーザーを削除する*	削除するユーザーを選択します。（ドメインコントローラーへの変更は行われません）。
権限	ユーザーグループごとに使用できる機能を設定します。ユーザーアカウント権限を参照してください。
	*ローカルユーザーアカウントのみ対象でアクティブユーザーは対象外です。



## 設定：ユーザーアカウント（管理者専用）

ユーザーのエクスポート*	ローカルユーザーアカウントは、USB メモリーにエクスポートでき、他のシステムコントローラーへのインポートやバックアップに使用できます。
ユーザーのインポート*	ローカルユーザーアカウントは USB メモリーからインポートできます。
カウンター確認	使用履歴（ログ）は、スキャン、プリント、使用データを含む CSV ファイルとしてエクスポートできます。
	*ローカルユーザーアカウントのみでアクティブユーザーは、対象外です。



## 設定：ユーザーアカウント：ローカルユーザーの編集（管理者専用）

ユーザー パスワード	MFP ユーザーアカウント情報： ユーザー名には、以下の文字を含めることはできません。 >< ` ~ @   ? ! " \$ % & , . ? / * : / ¥¥
ユーザーレベル	パワーユーザー、またはユーザー（ユーザー権限参照）
ユーザースキャンフォルダー	<p>ユーザースキャンフォルダーが有効な場合、そのユーザーのプリセットで設定したスキャンフォルダーよりこのスキャンフォルダーが優先されて使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ローカル - ローカルフォルダーを検索して選択します。             <ul style="list-style-type: none"> <li>フォルダーの共有を許可する</li> <li>新規共有フォルダー</li> </ul> </li> </ul>

新しいユーザー

ユーザー

パスワード

パスワードを再確認して

ユーザー

パワーユーザー

ユーザースキャンフォルダーを設定: オン

ローカル  ネットワーク

D:\MFPV\スキャン

フォルダ共有を許可

新規共有フォルダー

## 設定：ユーザーアカウント：ローカルユーザーの編集（管理者専用）

ユーザースキャンフォルダー

- ネットワーク
  - 種類 = サーバー、FTP、FTP (SSL)
  - サーバー (例： ¥Server¥folder¥)
  - サブフォルダー
  - ユーザー（ネットワークユーザー名）
  - パスワード（ネットワークパスワード）
  - ドメイン

認証情報が正しいかネットワーク接続をテストしてください。

注記：

FTP サーバーによってはルートディレクトリにファイルの保存を許可しない場合があります。その場合、サブフォルダーを作成して保存先に指定してください。FTP 接続はアクティブモードのみ対応しています。

種類の「サーバー」については SMB3 プロトコルで接続します。

### ユーザーの編集

ユーザースキャンフォルダーを設定:  オン

ユーザー	<input type="text" value="tom"/>
パスワード	<input type="text" value="1234"/>
<input checked="" type="radio"/> ユーザー	
<input type="radio"/> パワーユーザー	

<input type="radio"/> ローカル	<input checked="" type="radio"/> ネットワーク
種類	<input type="text" value="サーバー"/>
サーバー	<input type="text" value="¥¥192.168.1.226¥"/>
サブフォルダー	<input type="text" value="scanshare"/>
ユーザー	<input type="text" value="testuser"/>
パスワード	<input type="text" value="●●●●"/>
ドメイン	<input type="text" value="domainname"/>

OK    キャンセル    ネットワーク接続をテストする

## スキャンフォルダー：スキャン to ネットワークフォルダー

### ネットワーク上の共有フォルダーにスキャン

ネットワークに接続された PC で、書き込みアクセス権を持つフォルダーを共有します。システムコントローラーで、SmartWorksMFP ユーザーのスキャンフォルダーをこの共有ネットワークフォルダーに設定します。

1. 管理者としてログインし、選択したユーザー名とパスワードでユーザーを追加します。
2. ユーザーのスキャンフォルダーを有効にして、[ネットワーク]を選択します。サブフォルダーを含むネットワーク PC のアドレスの詳細を入力します。  
例) ¥¥ 192.168.1.226 ¥ scanshare  
ネットワーク PC のユーザー名、パスワード、およびドメイン（該当する場合）を入力します。「ネットワーク接続のテスト」ボタンをタップして接続を確認し問題がなければ編集内容を保存します。
3. この SmartWorksMFP ユーザーは、常にこの場所にスキャンします。



## スキャンフォルダー：スキャン to ネットワーク FTP サーバー

FTP サーバーにスキャン

ネットワークに接続された PC で、FTP サーバーを構成します。

システムコントローラーで、SmartWorksMFP ユーザーのスキャンフォルダーをこの共有ネットワークフォルダーに設定します。

1. システムコントローラーで、SmartWorksMFP ユーザーのスキャンフォルダーをこの共有ネットワークフォルダーに設定します。
2. ユーザーのスキャンフォルダーを有効にして、[ネットワーク]を選択します。FTP サーバーのアドレスの詳細を入力します。

例) ftp://192.168.1.226

ネットワーク PC のユーザー名、パスワード、およびドメイン（該当する場合）を入力します。

「ネットワーク接続のテスト」ボタンをタップして接続を確認し問題がなければ編集内容を保存します。

3. この SmartWorksMFP ユーザーは、常にこの場所にスキャンします。



## スキャンフォルダー：スキャン to ローカルフォルダーと HTTP 経由のアクセス

### HTTP 経由でコントローラーのフォルダーへアクセス

システムコントローラーのローカルフォルダーにスキャンした場合、ネットワーク上の Windows PC から SMB プロトコルまたは HTTP プロトコルでアクセスできます。SmartWorks MFP v6 では、デフォルトのスキャンフォルダーがシステムコントローラーのローカルフォルダー「D : ¥ MFP ¥スキャン」に設定されています。「スキャン」フォルダーは、選択した言語毎に用意されています。サブディレクトリを作成することも可能です。

スキャンファイルには、ネットワーク上の Windows PC からユーザー名/パスワードを使用して下記の 3 つの方法のいずれかでアクセスできます。（認証情報はシステム管理者に確認してください）システムコントローラーがスリープ状態の場合、フォルダーにアクセスするとウェイクアップされスリープが解除されます。

注：ローカルフォルダーの共有設定は「[設定-システム管理者-共有フォルダー（管理者専用）](#)」を参照してください。

#### 1. インターネットブラウザ

ネットワークに接続された PC で、インターネットブラウザのアドレスバーにシステムコントローラーの HTTP アドレスを入力します。

#### 2. ネットワークドライブの割り当て

スタートを右クリックし「エクスプローラー」を選択します。左のナビゲーションリストの「PC」を選択し、ウインドウ上部の「…」アイコンをクリックし、表示されたリストから「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。任意のドライブ文字を割り当て、システムコントローラーの SMB パス名または HTTP アドレスを入力します。これにより、PC 直下の「デバイスとドライブ」に、割り当てられたドライブ文字のフォルダーが表示されます。

#### 3. ネットワークの場所を追加

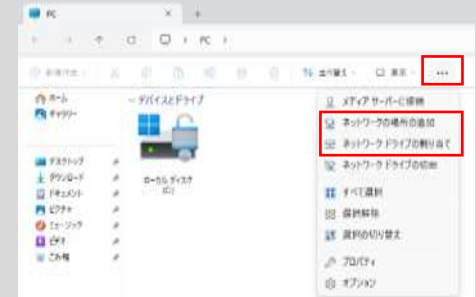
スタートを右クリックし「エクスプローラー」を選択します。左のナビゲーションリストの「PC」を選択し、ウインドウ上部の「…」アイコンをクリックし、表示されたリストから「ネットワークの場所を追加」をクリックします。システムコントローラーの SMB パス名または HTTP アドレスを入力します。これにより、PC 直下の「ネットワークの場所」に、割り当てられたフォルダーが表示されます。

※HTTPアドレスは、「http://ZSysController/スキャン」または、「http://” IPアドレス” /スキャン」です。

” IPアドレス” はシステムコントローラーに割り当てたIPアドレスです。例) http://192.168.1.106/スキャン

※SMBパス名は、「¥¥ZSysController¥スキャン」または「¥¥” IPアドレス” ¥スキャン」です。

“IPアドレス”はシステムコントローラーのIPアドレスです。



## 設定：ユーザーアカウント：アクティブディレクトリユーザーの編集（管理者専用）

ユーザーレベル

パワーユーザーまたはユーザー。デフォルトでは、アクティブディレクトリユーザーのユーザーレベルはユーザーに設定されます。（ユーザー権限を参照）

ユーザースキャンフォルダー

ユーザーのスキャンフォルダーのデフォルトは、ドメインコントローラーによって設定されたユーザーのホームフォルダーに設定されますが、必要に応じて変更する事が可能です。

- ローカル - ローカルフォルダーを検索して選択します。
- ネットワーク
  - タイプ = サーバー、FTP、FTP (SSL)
  - サーバーパス (例: ¥Server¥folder¥)
  - サブフォルダー
  - ユーザー (ネットワークユーザー名)
  - パスワード (ネットワークパスワード)
  - ドメイン

認証情報が正しいかネットワーク接続のテストを実行してください。

注記：FTP サーバーによってはルートディレクトリにファイルの保存を許可しない場合があります。その場合、サブフォルダーを作成して保存先に指定してください。FTP 接続はアクティブモードのみ対応しています。

ユーザーの編集

ユーザー: mst@globalscanning.com

ユーザースキャンフォルダーを設定:  オン

ローカル

ネットワーク

種類: サーバー

サーバー:

サブフォルダー: \int.globalscanning.com

ユーザー: mst@int.globalscanning.com

パスワード: ●●●●●●

ドメイン: int.globalscanning.com

OK キャンセル ネットワーク接続をテストする

## 設定：ユーザーアカウント権限（管理者専用）

	管理者は、パワーユーザーとユーザーの各機能のアクセス権限を定義します。	パワーユーザー	ユーザー
プリセットの保存を許可する	各機能からの終了時、またはプレビューでプリセットの保存を使用して、新しい設定を新しいプリセットとして保存する機能	オン/オフ	オン/オフ
フォルダーの選択を許可する	スキャンフォルダーの保存先を変更する機能	オン/オフ	オン/オフ
ネットワークフォルダー選択を許可する	ネットワークスキャンフォルダーの保存先を変更する機能	オン/オフ	オン/オフ
ファイル名の変更を許可する	スキャンファイル名の編集機能	オン/オフ	オン/オフ
USBメモリーの自動検出を許可する	USBメモリーを使用する機能	オン/オフ	オン/オフ
Eメールへのスキャンを許可する	Eメールへのスキャン機能	オン/オフ	オン/オフ
DropBoxクラウドへのアクセスを許可する	DropBoxログインの許可	オン/オフ	オン/オフ
Boxクラウドへのアクセスを許可する	Boxへのログインの許可	オン/オフ	オン/オフ
クラウドへのスキャンを許可する	クラウドへのスキャン機能	オン/オフ	オン/オフ
クラウドからのプリントを許可する	クラウドからのプリント機能	オン/オフ	オン/オフ
プログラム環境設定へのアクセスを許可する	オフに設定すると、これらの設定メニューにアクセスできなくなります。 この設定は、パワーユーザーのみでユーザーの設定は出来ません。	オン/オフ	
プリンター設定へのアクセスを許可する		オン/オフ	
スキャナー設定へのアクセスを許可する		オン/オフ	
ファイル設定へのアクセスを許可する		オン/オフ	
プリセット設定へのアクセスを許可する		オン/オフ	

## 設定：ユーザーアカウント操作ログ（管理者専用）

カウンター確認

ユーザーと期間を選択して CSV ファイルにエクスポートできます。

Eメール操作ログ

Eメールアドレスの設定：  
メールサーバーの SMTP サーバー、ポート番号、ドメイン、使用するメールアドレスとパスワードを入力します。必要であれば、SSL を有効にします。  
CSV ファイルを含むメールを毎日、毎週、毎月のいずれかに自動的に送信するように設定することができます。

注意：

- SmartWorks MFP は、リモートメールサービスを利用しています。メールの設定が正しくない場合、または SmartWorks MFP がメールサーバーでブロックされている場合は、メール失敗のエラーメッセージが表示されます。
- メールサービスでは、SmartWorks MFP がメールサーバーにアクセスできるように、設定変更が必要な場合があります。

例：「2段階認証」の有効化と SmartWorks MFP で使用する「アプリパスワード」を作成が必要な場合があります。

## 設定：操作ログファイル（管理者専用）

CSV ファイルの内容は次のとおりです。

- SmartWorks MFP のジョブ番号：コピーでは、1つのコピージョブにつきスキャンとプリントの2つのジョブ番号がエントリーされます。
- ユーザー：ローカルまたは、アクティブディレクトリ（AD）のユーザー名。
- 機能：SmartWorks MFP6.4 を経由しない印刷ジョブ（プリンターへ直接送信）は、「外部」（External）として表示されます。SmartWorks MFP6.0 以前のバージョンからのジョブも「外部」（External）と表示されます。
- スキャン to E-メールの送信元メールアドレスと送信先メールアドレス。
- スキャンの保存先フォルダー。
- アカウントフィールド（表示なし）は、使用されていない場合は空です。
- プリンターログ情報（表示なし）インク使用量など、プリンターから取得した情報です。

注：ハードドライブのないプリンタは、直近の10ジョブのみを保存します。ログファイルは定期的に更新されるため、プリンター情報の一部が欠落する可能性があります。この間隔は、設定-プリンター設定>プリンターモニター>プリンターポーリングで設定します。プリンターポーリングがオフの場合、ジョブログは SmartWorks MFP6 ver6.1 以降のセッションでプリンタが最初にアクティブになったときのみ更新されます。

Job Num	Date	Time	User	Function	From	To	File	Scan to F	File Type	System M	Preset
12	25/05/2022	10:59:14	b	Scan			Scan 202: C:\Users\		PDF	D481D74:	Custom
13	25/05/2022	11:04:23	b	Scan			Scan 202: C:\Users\		PDF	D481D74:	Custom
14	26/05/2022	14:13:05	b	Scan			Scan 202: C:\Users\		PDF	D481D74:	Custom
14	26/05/2022	14:13:19	b	Sent To Emkstockv	m.stockw		Scan 202: C:\Users\mst\Pictu			D481D74:	1A20C
15	26/05/2022	14:50:21	a	Scan			Scan 202: C:\Users\		PDF	D481D74:	Custom
15	26/05/2022	14:51:02	a	Sent To Emkstockv	m_stockv		Scan 202: C:\Users\mst\Pictu			D481D74:	1A20C
0	31/05/2022	10:24:32		External							
0	31/05/2022	10:35:37		External							
0	31/05/2022	10:52:25		External							
0	01/06/2022	12:02:48		External							
0	01/06/2022	15:16:51		External							
16	20/06/2022	15:50:18	mst@glo	Scan			Scan 202: \\int.glot		PDF	D481D74:	Color Gra
17	21/06/2022	09:29:08	mst@glo	Scan			Scan 202: \\int.glot		PDF	D481D74:	Color Gra
18	21/06/2022	11:35:00	mst@glo	Scan			Scan 202: \\int.glot		PDF	D481D74:	Color Gra
19	21/06/2022	11:47:01	mst@glo	Copy						D481D74:	Color Gra
19	21/06/2022	11:47:07	mst@glo	Sent To Printer						D481D74:	Color Gra
20	21/06/2022	11:47:25	mst@glo	Scan			Scan 202: \\int.glot		PDF	D481D74:	Custom
20	21/06/2022	11:49:18	mst@glo	Sent To Emkstockv	m.stockw		Scan 202: \\int.globalscanni			D481D74:	1A20C
21	21/06/2022	11:49:49	mst@glo	Scan			Scan 202: \\int.glot		PDF	D481D74:	Custom

エクスポートされた  
CSV ログファイルの内容

## 設定：ファイル管理（管理者専用）

すべて選択 すべて解除	システムコントローラ上のスキャンファイルを全選択/全解除します。
USB メモリーに保存	選択したファイルのコピーを USB メモリーに保存します。
削除	システムコントローラーで選択したスキャンファイルを削除します。




## 設定 - システム管理者 - 共有フォルダー(管理者専用)

共有フォルダー システムコントローラー内部の D ドライブ上のフォルダーは、ネットワーク上の PC からアクセスが可能です。

システム検出の有効化 システムコントローラーへのアクセスの有効化/無効化を行います。

共有フォルダーの管理 共有フォルダーの作成および削除が可能です。各共有フォルダーは、ユーザーごとにアクセス権限を設定できます。



## 設定 - システム管理者 - 共有フォルダー(管理者専用)

フォルダー共有が許可されているユーザー

共有フォルダーへのアクセス権を持つユーザーを定義します。



共有フォルダーのユーザー

共有フォルダーへのアクセス中のユーザーを表示します。

HTTP ファイルアクセス

HTTP アクセスの有効化/無効化を行います。

## 設定：Eメール設定（管理者専用）

スキャン to Eメールのデフォルト設定

スキャン to Eメールのデフォルト設定を行います。  
設定は、ユーザーアカウントがオン/オフによって異なります。（次のステージを参照）

Eメール管理者設定

管理者のEメールアドレスを設定します。  
システムコントローラーが管理者にEメールを送信するかどうかを選択します：  
定期的にシステムのログデータをEメールで送信します。  
プリンターに警告メッセージが表示されたときにEメールを送信します。  
プリンターにインク残量警告が表示されたときにEメールを送信します。  
プリンターに用紙切れ警告が発生したときにEメールを送信します。



## 設定 : E メール設定 (ユーザーアカウント=オフ) (管理者専用)

Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)	使用するメールサーバーの SMTP サーバー、ポート番号とドメイン名を入力します。 (例 : ネットワークの管理者から新しい E メールアドレスを取得し、SmartWorks MFP が SMTP サーバーにアクセスすることを許可してもらうように依頼します。) SSL を使用 : 有効であると、SSL 証明が E メールを保護し、認証します。
メッセージ設定	デフォルトの E メール の件名とメッセージ本文の内容を入力します。 最大添付サイズ : E メールに添付したデータが最大サイズを超えた場合、設定されたサイズ以下になるようにソフトウェアが自動で縮小します。(最大ファイルサイズのデフォルト=10MB) ディスクに保存されるファイルのサイズは変更されません。MPDF、DWF ファイル形式には対応しません。
SMTP デフォルトログイン情報	差出人の E メールアドレスとパスワードを入力します。 「パスワードを保存」にチェックが入っていない場合、スキャン to E メールをするたびにパスワードの入力を求められます。User (see notes)

- 注記 :
- SmartWorks MFP はリモートメールサービスを使用します。メール設定が正しくない場合、または SmartWorks MFP からのメール送信をメールサーバーでブロックされた場合はエラーメッセージが表示されます。
  - “User” は、メールサーバーのサポート要求に従って入力してください。
  - SmartWorks MFP がメールサーバーにアクセスできるように E メールサービスで設定の変更が必要になる場合があります。例 : 「2 段階認証」を有効にし、SmartWorks MFP で使用する「アプリパスワード」を作成します。

Eメールの設定

**簡易メール転送プロトコル(SMTP)**

SMTPサーバー

ポート番号

ドメイン

SSLを使用

**メッセージ設定**

件名

本文

最大添付サイズ (MB)

添付ファイルの自動サイズ縮小

**SMTPデフォルトログイン情報**

ユーザー用の単一メールアドレスを使用

メールアドレス

ユーザー

ユーザー用  パワーユーザー用

パスワード

パスワードを保存

## 設定 : Eメール設定 (ユーザーアカウント=オン) (管理者専用)

Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)

使用するメールサーバーの SMTP サーバー、ポート番号とドメイン名を入力します。(例 : ネットワークの管理者から新しい E メールアドレスを取得し、SmartWorks MFP が SMTP サーバーにアクセスすることを許可してもらうように依頼します。)  
SSL を使用 : 有効であると、SSL 証明が E メールを保護し、認証します。

メッセージ設定

デフォルトの Eメールの件名とメッセージ本文の内容を入力します。  
最大添付サイズ :  
Eメールに添付したデータが最大サイズを超えた場合、設定されたサイズ以下になるようにソフトウェアが自動で縮小します。(最大ファイルサイズのデフォルト=10MB)  
ディスクに保存されるファイルのサイズは変更されません。MPDF、DWF ファイル形式には対応しません。

SMTP デフォルトログイン情報

アクティブディレクトリを使用している場合、差出人の E メールアドレスはアクティブディレクトリ (AD) サーバーから取得されます。  
必要に応じて、全ユーザーの送信者メールアドレスを1つだけ入力し、それを固定にするか、パワーユーザーやユーザーが編集できるように設定します。  
「パスワードを保存」にチェックが入っていない場合、スキャン to Eメールをするたびにパスワードの入力を求められます。

注記 :

- SmartWorks MFP はリモートメールサービスを使用します。メール設定が正しくない場合、または SmartWorks MFP からのメール送信をメールサーバーでブロックされた場合はエラーメッセージが表示されます。
- “User” は、メールサーバーのサポート要求に従って入力してください。
- SmartWorks MFP がメールサーバーにアクセスできるように E メールサービスで設定の変更が必要になる場合があります。例 : 「2 段階認証」を有効にし、SmartWorks MFP で使用する「アプリパスワード」を作成します。

## 設定：アカウント処理（管理者専用）

アカウントが有効な場合、最大7つまでアカウント用の属性項目を有効にできます。これらの項目の内容は、ジョブログに保存されます。また、プリンターにも送信されますが、保存される項目の数はプリンターモデルによって異なります。プリンターが2つの項目しか保存できない場合、上位2つの項目（アカウントIDと部署）のみが送信されます。

有効にすると、スキャン・コピー時の緑色のボタンを押した後にアカウント属性を入力するパネルが表示されます。前回入力した内容が表示され変更も可能です。リセットボタンを押すと記入した内容が消去されます。各属性項目は未入力でも処理可能です。

アカウント処理

アカウントID 12345

部署名 Design

OK リセット



アカウント処理

## 設定 - システム管理 - システム設定 (管理者専用)

システムアップデート	システムおよびセキュリティの更新は、手動で適用するか、バックグラウンドで自動的にダウンロードされるように設定できます。								
工場出荷設定									
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">全てリセット</td> <td>ユーザープリセット、ユーザーアカウント、ユーザーログを削除します。</td> </tr> <tr> <td>全てのユーザーを削除</td> <td>全てのユーザー、パワーユーザー、管理者アカウントを削除します。</td> </tr> <tr> <td>全てのユーザープリセットを削除</td> <td>全てのユーザー、パワーユーザーのプリセットを削除します。</td> </tr> <tr> <td>全てのログを削除</td> <td>全てのユーザー、パワーユーザー、管理者の操作ログを削除します。</td> </tr> </table>	全てリセット	ユーザープリセット、ユーザーアカウント、ユーザーログを削除します。	全てのユーザーを削除	全てのユーザー、パワーユーザー、管理者アカウントを削除します。	全てのユーザープリセットを削除	全てのユーザー、パワーユーザーのプリセットを削除します。	全てのログを削除	全てのユーザー、パワーユーザー、管理者の操作ログを削除します。	
全てリセット	ユーザープリセット、ユーザーアカウント、ユーザーログを削除します。								
全てのユーザーを削除	全てのユーザー、パワーユーザー、管理者アカウントを削除します。								
全てのユーザープリセットを削除	全てのユーザー、パワーユーザーのプリセットを削除します。								
全てのログを削除	全てのユーザー、パワーユーザー、管理者の操作ログを削除します。								
日付と時間の設定する	システムの日付、時間を設定します。								
タイムゾーン	システムのタイムゾーンを変更する。								
ネットワーク設定	<p>システム IP : IP アドレスの自動取得 (DHCP) または、固定 IP アドレスを設定します。コンピュータ名 (ドメイン上に 2 つ以上の同一コンピュータ名の存在は認められていません。)</p> <p>ドメインに参加する。 : ドメイン参加の設定をします。</p> <p>ドメインから削除する。 : ドメインから離脱する設定をします。</p>								



## 設定 - システム管理 - システム設定 (管理者専用)

リモート管理	リモート管理アクセスを有効にします。
キーオペレーター設定	キーオペレーターの詳細 (名前、電話番号、メールアドレス、システム識別子、システム設置場所)
システムログのエクスポート	サポート問題の解決を支援するため、システムログを USB メモリーにエクスポートします。
システム設定のエクスポート	
ユーザーのエクスポート	すべてのユーザーデータを USB メモリーにエクスポートします。
プリセットのエクスポート	すべてのユーザープリセットを USB メモリーにエクスポートします。
プログラム設定のエクスポート	すべてのプログラム設定を USB メモリーにエクスポートします。
全ての設定をエクスポート	すべての設定 (ユーザー、プリセット、プログラム設定) を USB メモリーにエクスポートします。
オプション機能	オプション機能, を表示します *追加購入が必要となります。

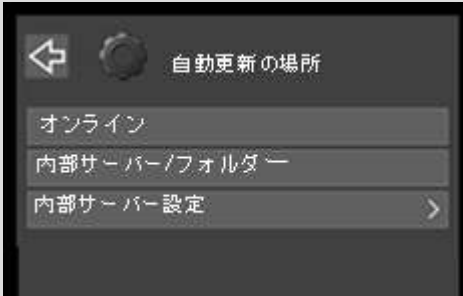



追加機能インストール

「追加機能インストール」をタップして、表示された手順に従ってください。

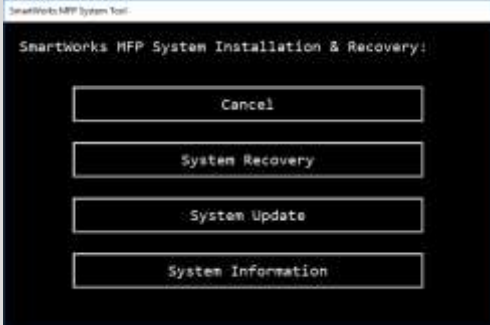
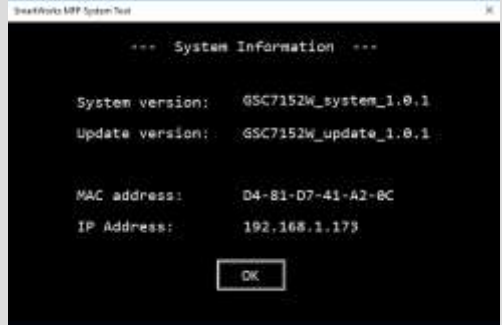
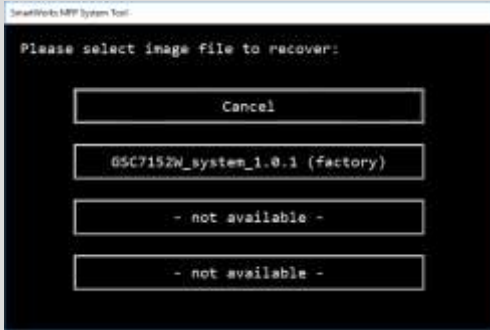
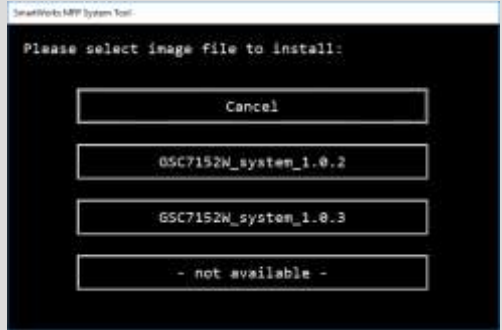


# 設定 - システム管理 - システム設定 - システムの更新と修復(管理者専用)

手動アップデート/リカバリー	手動でシステムコントローラーを更新/復元モードで再起動します。
手動セキュリティアップデート	手動で USB メモリー上の更新ファイルからセキュリティ更新をインストールします。
自動システムアップデート	自動システム更新を有効にします。これにより、通常動作中にバックグラウンドで新しいシステムイメージがダウンロードされます。(利用可能な場合)
自動セキュリティアップデート	自動セキュリティ更新を有効にします。これにより、通常動作中にバックグラウンドで最新のセキュリティ更新がダウンロードされます。
自動更新の場所	自動更新の場所を選択してください: オンラインまたは内部サーバー/フォルダー  



## 設定 - システム管理 - システムの更新と修復（手動）

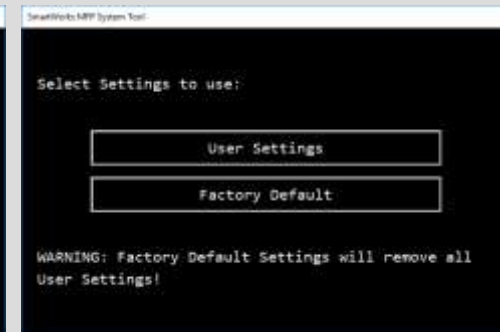
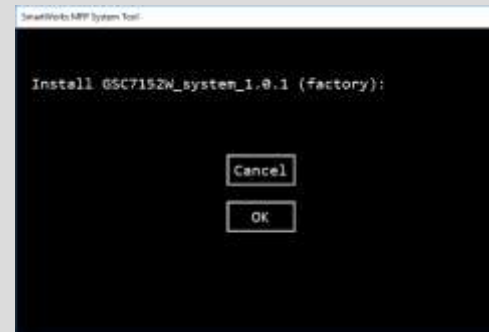
システム更新モード		
Cancel	通常のシステムオペレーションに戻ります。	 
System Information	現在のシステム情報が表示されます。	
System Recovery	リカバリーしたいイメージを選択します。	 
System Update	新しいイメージファイルをダウンロードし、USB メモリーに zip ファイルを解凍します。USB メモリーに解凍したシステムイメージファイル（例 GSC7152W_system_1.1.8.cif）を保存します。イメージファイルが保存されている USB メモリーを差し込みます。インストールしたいイメージを選択します。	

Continued

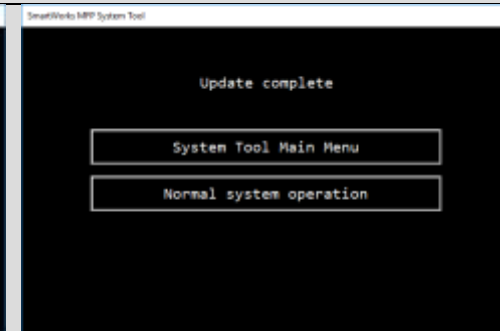
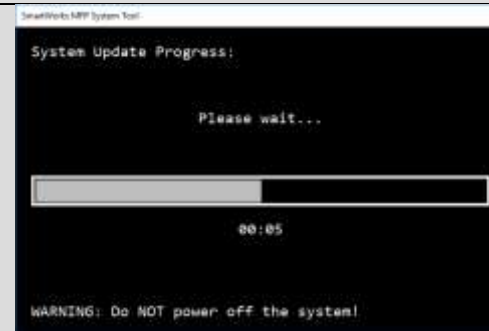
## 設定 - システム管理 - システムの更新と修復（手動）

「OK」を選択します。

現在の「User Settings」（ユーザー設定）を保存するかどうか選択します。（ユーザープリセット、ユーザーアカウント、ユーザーログ）  
 警告：「Factory Default」を選択すると全てのユーザー設定が削除されます。（ユーザープリセット、ユーザーアカウント、ユーザーログ）C:ドライブの全てのスキャンデータが削除されます。  
 D:ドライブ側の全てのスキャンデータは保持されます。



システムがイメージをロードするのを待ちます。「Please wait...」  
 警告：システムの電源を切らないでください。



システムが更新を始めたら USB メモリーを取り外してください。  
 「Normal System Operation」を選択するとシステムが SmartWorks MFP を再スタートします。

システムの更新と  
リカバリープロセス

## 設定 : Windows Defender の更新 (管理者専用)

新しいシステムコントローラー用の新しい Windows Defender 定義ファイルを USB メモリーにダウンロードし、システムコントローラーに挿入します。  
例 : USB メモリーに「Windows\_Defender\_Update\_2208.uwd」などの更新ファイルが必要です。

Windows Defender の更新を選択し、インストールするファイルを選択します。  
OK をタップします。

システムが更新プログラムをインストールするのを待ちます。  
**警告 : : システムの電源を切らないでください !**

```
C:\Windows\System32\cmd.exe
Unpacking update archive
E:\System_Security_Update_2401.uwd_ DONE.
Installing update part 1_ DONE.
Installing update part 2_
```

完了すると、システムコントローラーが再起動し、SmartWorks MFP を再起動します。  
再起動されたら、USB メモリーを取り外してください。



Continued


手動セキュリティアップデートの更新

## 設定：ネットワーク設定（管理者専用）

システム IP アドレス	システムコントローラーに自動 IP アドレス（DHCP）または、固定 IP アドレスを設定します。 コンピュータ名の「ZSysController」を使用する場合、DNS1 には、ドメインサーバー（AD）の IP アドレスを設定する必要があります。
IP アドレス自動取得=オン	システムコントローラーがネットワークに接続されると、すべてのフィールドが DHCP サーバーによって自動的に設定されます。
IP アドレス自動取得=オフ	すべてのフィールドを必要に応じて編集します。
コンピュータ名	システムコントローラーのデフォルトのコンピュータ名は、「ZSysController」です。ドメイン上にこの名前前のコンピュータがすでに存在する場合は、コンピュータ名を変更する必要があります。（ドメイン上に 2 つ以上の同一コンピュータ名の存在は認められていません。） 特に複数の MFP が同一ネットワーク上に存在する場合は、コンピュータ名を変更してユニークな名前にしてください。
ドメインに参加する	ドメインサーバー名とドメインの管理者ユーザー名/パスワードを入力し、アクティブディレクトリのドメインにシステムコントローラーを追加します。ドメインに参加した後、システムコントローラーを再起動します。 <b>注意：</b> ドメイングループポリシーを使用してシステムコントローラーを変更しないでください。本システムではドメイングループポリシーでの一括適用に対応していない為、ドメイングループポリシーでの一括の設定変更が出来ません。この為、ドメイングループポリシーを持つオペレーショングループに追加しないでください。
ドメインからの削除	システムコントローラーをドメインから削除するには、そのサーバー管理者のユーザー名とパスワードを入力します。
プロキシサーバー	プロキシサーバーの使用を有効にし、プロキシサーバーで使用する IP アドレスとポートを設定します。



## 設定：リモート管理（管理者専用）

リモート管理	ローカルネットワーク上の 1 台または複数のシステムコントローラーのシステム 管理設定を行うために、リモート管理を有効にします。 .
リモート管理ロケーション	
有線 LAN	ローカルネットワーク上のリモート管理クライアント（IP アドレス経由）
オフサイト	オフサイト共有フォルダー経由のリモート管理クライアント（サーバー、サブフォルダー、ユーザー、パスワード、ドメインを入力） 
ポート番号	SmartWorks リモート管理クライアントがシステムコントローラーにアクセスする際に使用するポートを設定します。（推奨：44444）



# 初回設定

システムの更新と  
リカバリープロセス

新しいイメージを初めて開くと、コントローラーがスタートアップウィザードを開始します。

- (1) 言語とタイムゾーンを選択します。
- (2) 正しい時間と日付を設定します。
- (3) システムコントローラーの IP アドレスを固定又は、自動 (DHCP) で設定します。
- (4) 設定のインポート (すべて、またはユーザー設定、プリセット設定、システム設定)
- (5) 設定の変更 (オプション)



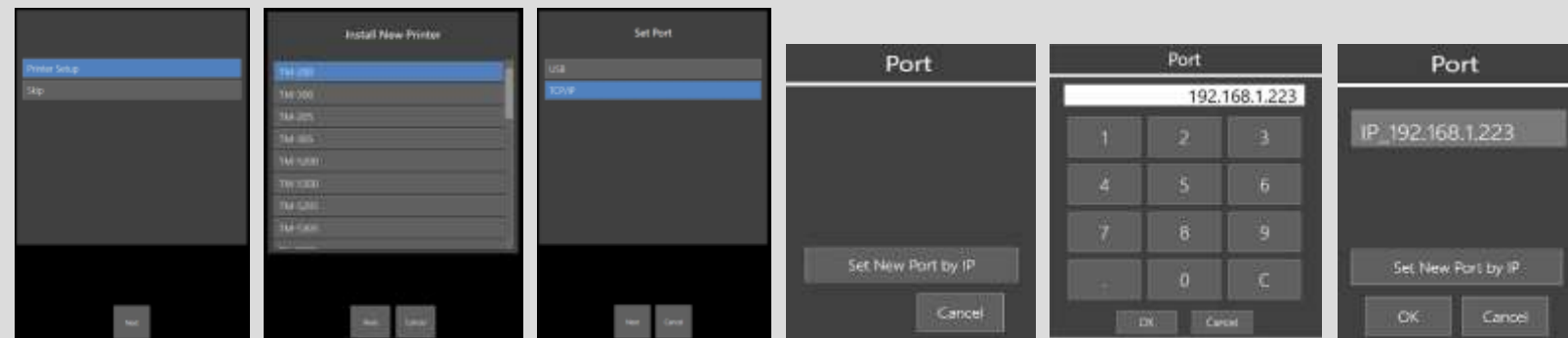
- (6) プリンターセットアップを選択します。
- (7) プリンターと接続ポートの種類を選択します。

TCP/IP

- (8) IP アドレスで新しいポートを設定します。

TCP/IP と USB

- (9) プリンターが接続されていてオンラインであることを確認して下さい。
- (10) プリンターが検出されるのを待ちます。

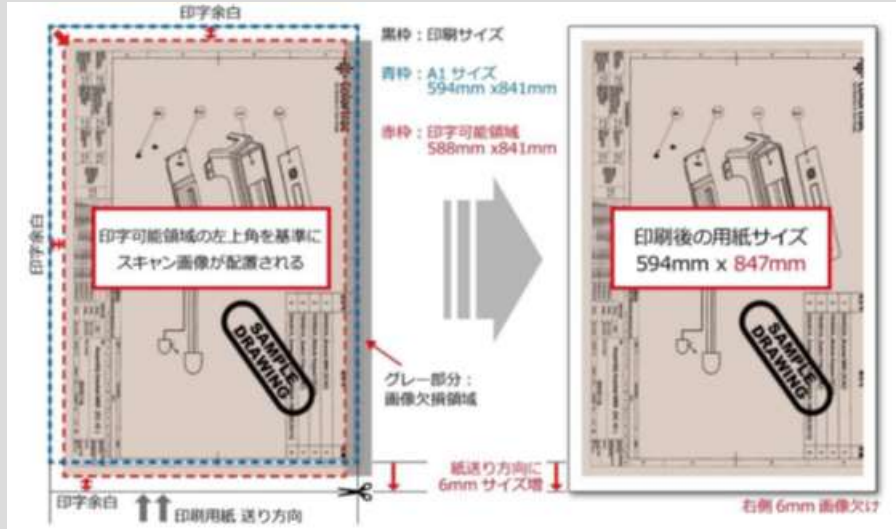


# アプリケーションノート：枠のトリミング（コピー）

例) A1 の定型サイズでスキャンし、A1 ロール紙にプリントする場合：

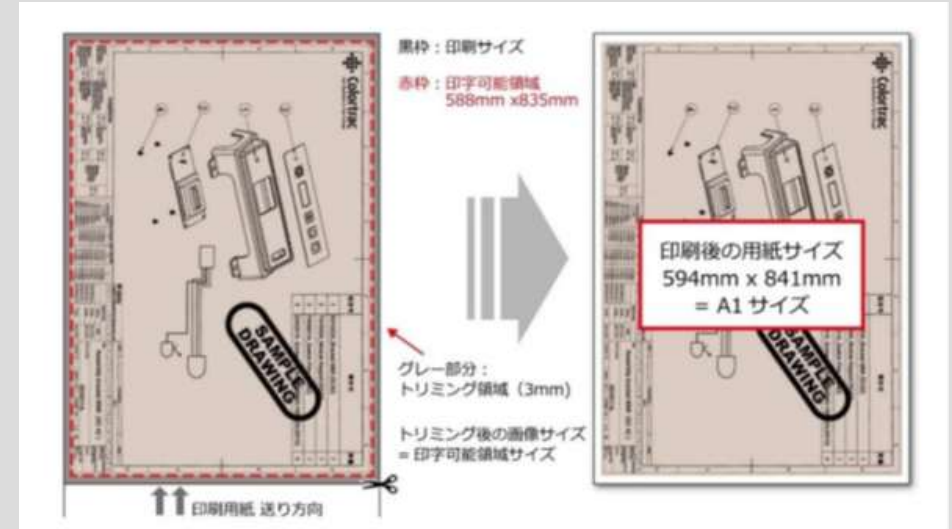
トリミング：オフ

プリント時に出力用紙の余白 3mm 分スキャン画像が移動します。  
このため横方向で 6mm の画像欠損（右側）とタテ方向で 6mm  
用紙サイズが大きくなり、出力サイズは 594mm x 847mm となります。



トリミング：オン ※トリミングサイズが 3mm の場合

プリントする前にスキャン画像の四方の 3mm をトリミングし、  
A1 サイズ 594mm x 841mm でプリントします。



枠のトリミング

## アプリケーションノート：原稿サイズと原稿の向きオプション

スキャンやコピーのサイズ、  
または原稿の向きを変更する  
方法

- (1) プリンターロール自動選択（ロールユニットを搭載し、2 段ロール給紙に対応したプリンターの場合）
  - メディアの種類が同じ場合、プリンターは常に出力に最適なロール紙を選択します。
- (2) 原稿サイズ
  - 自動：スキャナーが自動で原稿の幅と長さを検知します。原稿が挿入されたときにスキャナーが原稿の両端をセンサーで検知し、自動で原稿幅が認識されますが、数値を正しく読み取れない場合もあります。自動サイズの場合、出力したいロール紙にプリントされない場合があり、幅の広いロール紙が搭載されている場合、そちらに出力することがあります。
  - 一番近い定型サイズ：この機能を有効にすると一番サイズに近い ISO、ANSI、ARCH、JIS 定型幅サイズを認識し、その幅に自動で設定します。自動サイズによってオーバーサイズで認識されるリスクを軽減します。（「設定」-「プログラム環境設定」-「表示される原稿サイズ」-で設定します）
  - 全幅：原稿幅がスキャナーの全幅とほぼ同じ場合、またトレーシングペーパーなど、原稿の種類によってはスキャナーによる正しい原稿幅の検知が難しい場合があります。その場合、「全幅」の設定を使用し、スキャナーの幅と同じサイズ（24 インチ、または 36 インチ）でスキャンし、必要であればプレビューで「切抜き」機能で画像サイズを調整することができます。
- (3) 倍率
  - ロールサイズに合わせて印刷：プリンターに搭載しているロール紙の最大幅に合わせて画像サイズを自動で調整します。
  - %：画像は指定された倍率で拡大、縮小されます。
  - ISO/ANSI/ARCH/JIS：入力サイズと出力サイズを選択すると、SmartWorks MFP は、用紙サイズの幅ごとに倍率を計算します。
- (4) 枠のトリミング
  - スキャン画像の四辺からプリント時に必要な印字余白を自動で切り取ります。画面に表示されるプレビュー画像には適用されませんがプリント時にこのマージンが削除されます。
- (5) 印刷自動回転
  - プリンターに搭載しているロール紙の印字可能幅より画像の長辺側が短い場合に、自動で画像を回転します。

## アプリケーションノート：巻き癖がきつい、デリケートな原稿のスキャン

### 巻き癖がきつい原稿

巻き癖がある原稿はスキャンする前にしっかりと伸ばしてください。

排紙された原稿が回り込んで再度スキャナーに入ることがないように、原稿を支えながらスキャンします。再度スキャナーに入ってしまった場合、紙詰まりを起こす可能性があります。原稿を破損する恐れがありますので十分に気を付けてください。

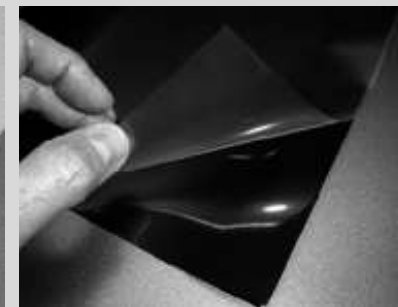
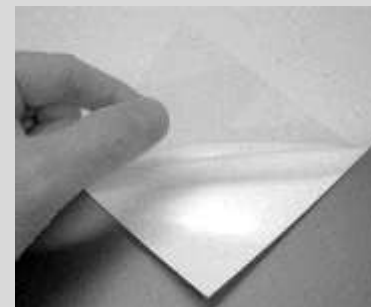
### キャリアシートの使用

デリケートな原稿のスキャン：

古い原稿、原稿の淵や折り目が破れた原稿、貴重な原稿、あるいは和紙などの原稿（腰の弱い原稿）など、スキャナーを通紙中に破損してしまうことがあります。原稿を保護しながら搬送するキャリアシートに挟んでスキャンする事を推奨します。

キャリアシートは次のような原稿をスキャンする時にも有効です。

- フィルムなど透明な原稿をスキャンする時に起きる光の反射を抑え、質の良い画像を得るのに役立ちます。
- 光沢紙などつるつるした表面の原稿に傷がつくのを防ぎます。
- スキャナーに挿入しにくい形の原稿、破れている原稿、また複数の原稿を一つの原稿としてスキャンする場合などキャリアシートに挟んでスキャンすることを推奨します。
- 汚れている原稿などキャリアシートに挟んでスキャンするとスキャナーのガラスが汚れるのを防ぎます。
- 両面に印刷されている原稿は、裏写りを軽減させるために裏地が黒いキャリアシート（別売オプション）を使用してスキャンすることを推奨します。
- キャリアシートの価格等は販売店にご確認ください。



## トラブルシューティング

メニューのオプションが表示されない	ユーザーアカウントでログオンした場合、管理者によってユーザー毎に制御範囲が制限されているので表示されないメニューがある場合があります。SmartWorks MFP の管理者にご確認ください。
スキャンボタンが緑色にならない	プリンターがオンラインであり、準備ができている必要があります。プリンターと SmartWorks MFP が 7 日間接続されていない場合、プリンターが検出されるまでスキャンボタンは有効になりません。
スキャン to USB が正しくできない	USB メモリーが正しくフォーマットされていてスキャンに十分な空容量があることを確認して下さい。低めの解像度でスキャンするとデータサイズが小さくなります。
コピー開始のボタンを押してもコピーできない	選択したプリンターがオンライン上でコピーの準備ができていることを確認して下さい。ファイルがプリンターの最大幅を超えていないことを確認して下さい。
スキャナーの自動サイズが正しく機能しない	原稿がスキャナーに搭載されるとスキャナーは原稿の先端をスキャンし、右端と左端を検知してその幅を測ります。自動サイズの精度は原稿の種類に依存します。原稿によってはその両端を検知することが難しく、特に原稿の内容が原稿の端ぎりぎりまで描かれている場合、誤ったサイズを測定することがあります。スキャンガラスや原稿ホールドアップシステムが汚れていたり、スキャナーのキャリブレーションがされていなかった場合なども誤った原稿幅を検知する原因になります。スキャナーを清掃し、キャリブレーションを行ってください。キャリブレーションをする前に必ずスキャナーを清掃してください。スキャンガラスやホールドアッププレートに傷がついていたり、汚れが取れない場合、交換することをお勧めします。原稿の一方の端、または両端が最大読取り幅からはみ出すと、スキャナーのセンサーが原稿の端を検知できません。その場合、原稿サイズを「最大幅」に設定してください。スキャナーはスキャナーの最大幅をスキャンし、その後自動的に原稿長さを測定します。 注：自動原稿幅検出で最適な結果を得るには、「自動原稿幅検出：ベスト」の使用をお勧めします
SmartWorks MFP がフリーズする。	SmartWorks MFP はスキャンされた画像を指定されたフォルダーに保存します。ネットワーク上のリモート PC にあるフォルダーに画像を保存する場合、画像ファイルのサイズやネットワークの速度、または帯域幅によって保存にかかる時間が長くなる場合があります。 スキャンした画像データを保存するには時間がかかります。画像データが小さい程、短時間で保存することができます。画質を低くする (dpi)、TIFF の代わりに JPG か PDF ファイルフォーマットを使う、JPG や PDF ファイルフォーマットのファイル圧縮を使用することで画像データを小さくできます。

## トラブルシューティング

起動時のエラー：「SmartWorks MFPでエラーが検出されました。工場出荷時のデフォルト設定に戻します。」	このメッセージが表示された場合、SmartWorks MFP6プログラムデータが破損しています。これはシャットダウン処理中の停電（瞬断）が原因の可能性があります。復旧のため、システムコントローラーは、破損したプログラムデータファイルを削除し、再起動して新しいプログラムデータファイルを作成します。これにより、これまでの設定はすべて失われます。
SmartWorks MFP のエラー番号 表示 XX-YYYY	操作を再度、実行してください。問題が解決しない場合は、スキャナーとシステムコントローラーを再起動してください。エラーが継続する場合は、エラーコードを明記して製品サポートまでご連絡ください。
原稿が正しく送られ（フィード）ません。	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 原稿をまっすぐスキャナーに給紙してください。原稿を両手で持ち、両側の給紙ローラーから均等な抵抗を感じるまでスキャナーに差し込みます。原稿がまっすぐでない場合は、巻き戻して再度試してください。原稿はスキャナーの中央にセットしてください。</li><li>(2) 丸まったり折れ曲がった原稿は、スキャナーに挿入する前に平らに伸ばしてください。</li><li>(3) 原稿の両側に用紙ガイドを配置し、原稿の位置合わせとガイドを補助してください。</li><li>(4) スキャナーを正しく閉め、下部のラッチが両方ともカチッと固定されることを確認してください。</li><li>(5) 原稿のサイズがスキャナーの対応サイズ外である事が考えられます。原稿のサイズがスキャナーの仕様範囲内であることを確認してください。</li></ol>
強く丸まった書類がスキャナーに逆流し、紙詰まりを引き起こした場合	ペーパーリターンガイドは、原稿をユーザー側へ戻しますが、強く巻かれた原稿は反り返ってスキャナーに再給紙される可能性があります。再給紙を防ぐには、原稿を逆方向に巻いて反り返りを解消し、原稿の先頭端を手動でガイドしてください。あるいはペーパーリターンガイドを取り外してご使用ください。
スキャナーの LED が点灯しない。	スキャナーに電源が供給されていない可能性があります。スキャナーの電源が入っていること、主電源が入っていること、電源ケーブルが電源アダプターに正しく接続されていること、電源アダプターのケーブルがスキャナーに正しく接続されていることを確認してください。
スキャナーの LED が、電源投入時にオレンジ色で点滅します。	スキャナーのカバーが開いている可能性があります。スキャナーのカバーを正しく閉め、両方のラッチが下部のクリック部分にカチッと固定されるようにしてください。
スキャンまたは、コピー結果が空白です。	原稿を上向きにしてスキャナーの中央にセットしてください。

## トラブルシューティング：画質

右図のスキャン画像の様に画像に異常がみられる場合、スキャナーに何らかの不具合があると考えられます。不具合にあった処置を実行してください。

### 1. 縦の線

ガラスに埃がついているかキャリブレーションが正しく行われていない可能性があります。ガラスを清掃してください。それでも解決しない場合、キャリブレーションを行ってください。ガラスに傷がついている場合、ガラスを交換してください。

### 2. 色ムラ

200mm 間隔の色ムラ、その間隔に縦の線が見られる場合、キャリブレーションを実行してください。

地肌の白の濃淡にムラがある場合、キャリブレーションを実行してください。

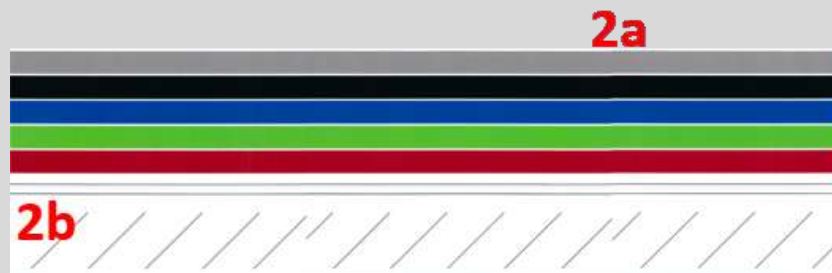
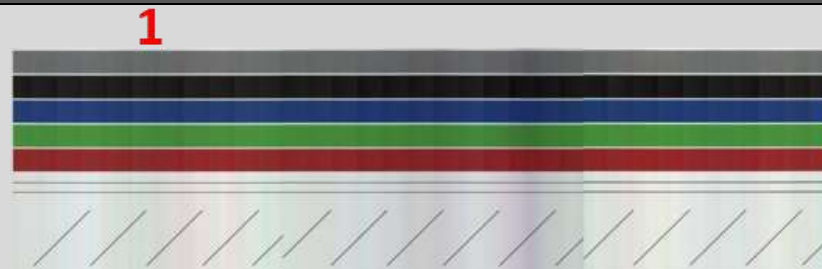
### 3. 線が途切れている

ステッチ調整を実行してください。



## トラブルシューティング：画質

1. スキャナーをクリーニングすることで埃による縦の線を取り除くことができます。
2. スキャナーをキャリブレーションすることで下記の効果があります：
  - a. 色ムラや縦の線を取り除く
  - b. 地肌の色もきれいになるキャリブレーションはセンサーのピクセルの光学的な感度を調整し、白と黒を正しいレベルに戻します。
3. ステッチ調整で線の途切れを直す  
ステッチ調整はそれぞれのセンサーの継ぎ目を自動的に調整し、継ぎ目の前後、左右に起こるズレを補正します。



## 仕様

(仕様は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。)

製品名	Z24	Z36	製品名	Z24	Z36
最大読取り幅	24" (610mm)	36" (914mm)	スキャンテクノロジー	光学解像度 1200dpi シングルセンサー	
原稿幅	26" (660mm)	38" (965mm)	光源	全幅、2方向から照射する複数のLED光源	
最小読取り幅	158mm (6.2")	150mm (6")		64 LEDs	96 LEDs
原稿厚 (1)	0.07 - 1.0mm (0.003 - 0.04 inches)		原稿排紙方法	後方排紙	
外形寸法 (ペーパーリターンガイド含む)	W x H x D 751 x 156 x 251 mm 29.6 x 6.1 x 9.9 inches	W x H x D 1056 x 156 x 251 mm 41.6 x 6.1 x 9.9 inches	原稿給紙方法	読み取り面を上 (フェイスアップ) 前面給紙、後方排紙 (付属のペーパーリターンガイドを使用して前方に排紙することが可能)	
質量	5.8Kg (12lbs 13oz)	7.8Kg (17lbs 3oz)	スキャン速度 200dpi カラー (2)	6ips (コピー) / 3ips (スキャン)	
USB インターフェース	3.0 (USB2 に下位互換性あり)		スキャン速度 200dpi グレー (2)	13ips	
スキャナー制御	停止、原稿搬送、原稿巻き戻し、LED ステータス		推奨使用環境	温度条件 : 10-35°C 相対湿度 : 10-90%	
スキャンファイルの種類	PDF/マルチ PDF/マルチ TIFF/JPEG/TIFF/DWF (ファイルタイプの圧縮 : TIFF= カラー : 非圧縮 RGB フォーマット、モノクロ : G4 圧縮 PDF = カラー/グレースケール : JPEG 圧縮、モノクロ : Flate 圧縮)				
注記 :	(1) 厚手の原稿は柔軟性がある素材であることを確認して下さい。厚手の原稿をスキャンするときはペーパーリターンガイドを外して下さい。画像の品質を保つために、メディアの素材によってはスキャンスピードを遅く設定してスキャンすることをお勧めします。メディアの素材によっては正しくスキャンできない場合があります。				
	(2) スキャン速度は設定している解像度に比例します。実際にスキャンにかかる時間と仕様に書かれている速度はホストのパフォーマンスに依存します。またメディアの種類によっても異なります。仕様にあるスキャン速度は 200x200dpi での画像読み取り時の最高速度です。				
	仕様は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。				

## 仕様

(仕様は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。)

### 最大スキャン長

最大スキャン長は、ファイル形式やスキャンの解像度によって異なります。  
 ロングスキャンモードでは、最大 50m (1968.5 インチ) までのドキュメントをスキャンできます。(解像度 200dpi/300dpi PDF 形式のみ)  
 コピー設定時の最大コピー長は、解像度の設定ごとに異なり、TIFF 形式と同じ長さとなります。  
 コピー&アーカイブ設定時の最大スキャン長とコピー長は、解像度の設定ごとに異なり、選択したファイル形式の長さとなります。  
 PDF の最大スキャン長は、カラー/グレイ/モノクローム共に JPEG の最大スキャン長と同様となります。  
 最大スキャン長は、カラーモードに依存しません。

最大スキャン長 (インチ)									最大スキャン長 (メートル)							
DPI	100	200	300	400	600	800	1000*	1200*	100	200	300	400	600	800	1000*	1200*
JPEG	315	315	200	162	96	60	36	24	8.00	8.00	5.08	4.11	2.44	1.52	914	0.61
TIFF	600	600	395	200	96	60	36	24	15.24	15.24	10.03	5.08	2.44	1.52	914	0.61

\*定型サイズの場合： A0、ANSI E/E+または ARCH E/E1、801dpi 以上の場合、DPI は自動で 800dpi に自動設定されます。

### 用紙定型サイズ

	ISO		ANSI		ARCH		JIS
A0	841mm x 1189mm	E	34in x 44 in	E	36inx 48in	B0	1030 x 1456 mm
A1	841mm x 594mm	D	34in x 22 in	D	36in x 24in	B1	728 x 1030 mm
A2	594mm x 420mm	C	22in x 17 in	C	24in x 18in	B2	515 x 728 mm
A3	297mm x 420mm	B	17in x 11in	B	18in x 12in	B3	364 x 515 mm
A4	297mm x 210mm	A	11in x 8.5in	A	12in x 9in	B4	257 x 364 mm